

令和4年度

危機的な状況にある

言語・方言サミット

(奄美大会)・沖永良部

資料集

令和5年1月28日(土) 13:10～17:30

1月29日(日) 10:00～15:30

鹿児島県知名町 おきえらぶ文化ホール あしびの郷・ちな

主催・共催 文化庁、鹿児島県、知名町、知名町教育委員会、
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所、
国立大学法人琉球大学



目 次

趣旨・後援	3ページ
日程及び登壇予定者	4ページ
“Atlas of the World’s Languages in Danger”（UNESCO2009） で消滅の危機にあるとされた日本国内の言語・方言及び東日本大震災の 被災地の方言	7ページ
危機の度合いの判定基準	8ページ
危機的な状況にある言語・方言に関する文化庁の取組	12ページ
令和4年度 危機的な状況にある言語・方言サミット（奄美大会）・沖永良部チラシ	15ページ
【1月28日（土）】	
基調講演「島ムニの研究・勉強」	17ページ
危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ	29ページ
島唄・島ムニ披露	57ページ

【1月29日（日）】

危機方言の現状と取組の状況－なぜ継承していくことが大切なのか－

65ページ

アイヌ語学習の現状と課題

79ページ

協議「島ムニ継承の取組を家庭に」

97ページ

ブース発表

111ページ

大会宣言

117ページ

【 趣 旨 】

我が国における言語・方言のうち，ユネスコが平成 21 年に発行した“Atlas of the World’s Languages in Danger”で消滅の危機にあるとした 8 言語・方言及び東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の状況改善につなげるために，消滅の危機にある言語・方言に関する委託調査結果の成果や消滅の危機にある言語・方言を抱える各地域の取組状況等について広く知っていただき，文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考える機会とする。

【 後 援 】

北海道、沖縄県、八丈町、和泊町、和泊町教育委員会、
公益財団法人アイヌ民族文化財団、南日本新聞社、南海日日新聞社、
株式会社奄美新聞社、NHK 鹿児島放送局、MBC 南日本放送、
KTS 鹿児島テレビ、KKB 鹿児島放送、KYT 鹿児島読売テレビ、
奄美テレビ放送株式会社、あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、
エフエムたつごう、エフエムうけん、せとうちラジオ放送、
大島地区文化協会連絡協議会、奄美群島広域事務組合、鹿児島県立奄美図書館、
奄美群島文化財保護対策連絡協議会、一般社団法人結いの島、
一般社団法人おきのえらぶ島観光協会、日本言語学会、日本方言研究会

【 日程 及び 登壇予定者 】

(敬称略)

1月28日(土)

* 下線を付したプログラムは、事前に収録した映像を投影。

13:10 開会式

○エイサー・開会宣言

沖永良部高校エイサー部

○主催者・共催者挨拶

文化庁、鹿児島県、知名町

13:45 基調講演「島ムニの研究・勉強」

ハイス・ファン＝デル＝ルベ

15:00 休憩

15:15 危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ

鈴木 るり子（奄美大島）、喜禎 光弘（喜界島）、富田 保子（徳之島）、
菊 秀史（与論島）、田中 美保子（沖永良部島（東部））、
沖 良子（沖永良部島（中部））、林 富義志（沖永良部島（西部））、
関根 摩耶（アイヌ語（沙流））

山丸 賢雄（アイヌ語（白老））、荒田 このみ（アイヌ語（十勝））、
早坂 駿（アイヌ語（旭川））、桐田晴華（アイヌ語（浦河））、
榎谷 伸夫（八戸）、伊藤 恵子（名取）、川上 絢子（八丈）、
大田 利津子（沖縄）、来間 玄次（宮古）、山城 直吉（八重山）、
宮城 政三郎（与那国）

16:00 休憩

16:15 島唄・島ムニ披露

語り：鈴木 るり子（奄美大島）

弁論：喜禎 光弘（喜界島）、関根 摩耶（アイヌ語（沙流））

寸劇：知名町中央公民館講座「しまむにサロン」

島唄：遊弦会せりよさ

17:30 終了

1月29日（日）

*下線を付したプログラムは、事前に収録した映像を投影。

10:00 開会

10:05 危機方言の現状と取組の状況ーなぜ継承していくことが大切なのかー

元国立国語研究所 木部 暢子

10:30 アイヌ語学習の現状と課題

北海道大学アイヌ・先住民研究センター 北原 モコットゥナシ

11:00 休憩

11:15 協議「島ムニ継承の取組を家庭に」

進 行 : 石原 昌英 (琉球大学)

パネリスト: 横山 晶子 (日本学術振興会特別研究員・東京外国語大学)

前田家の皆さん

12:45 ブースアピール

13:00 休憩

14:00 ブース発表 横山 晶子、与那国島、和泊町歴史民俗資料館、和泊町教育委員会、

知名町中央公民館講座「しまむにサロン」、沖永良部高等学校、

下平川小学校、関根 真紀、言語復興の港、与論民俗村

15:25 大会宣言・閉会式

ひーぬむん、次年度開催地、知名町教育委員会

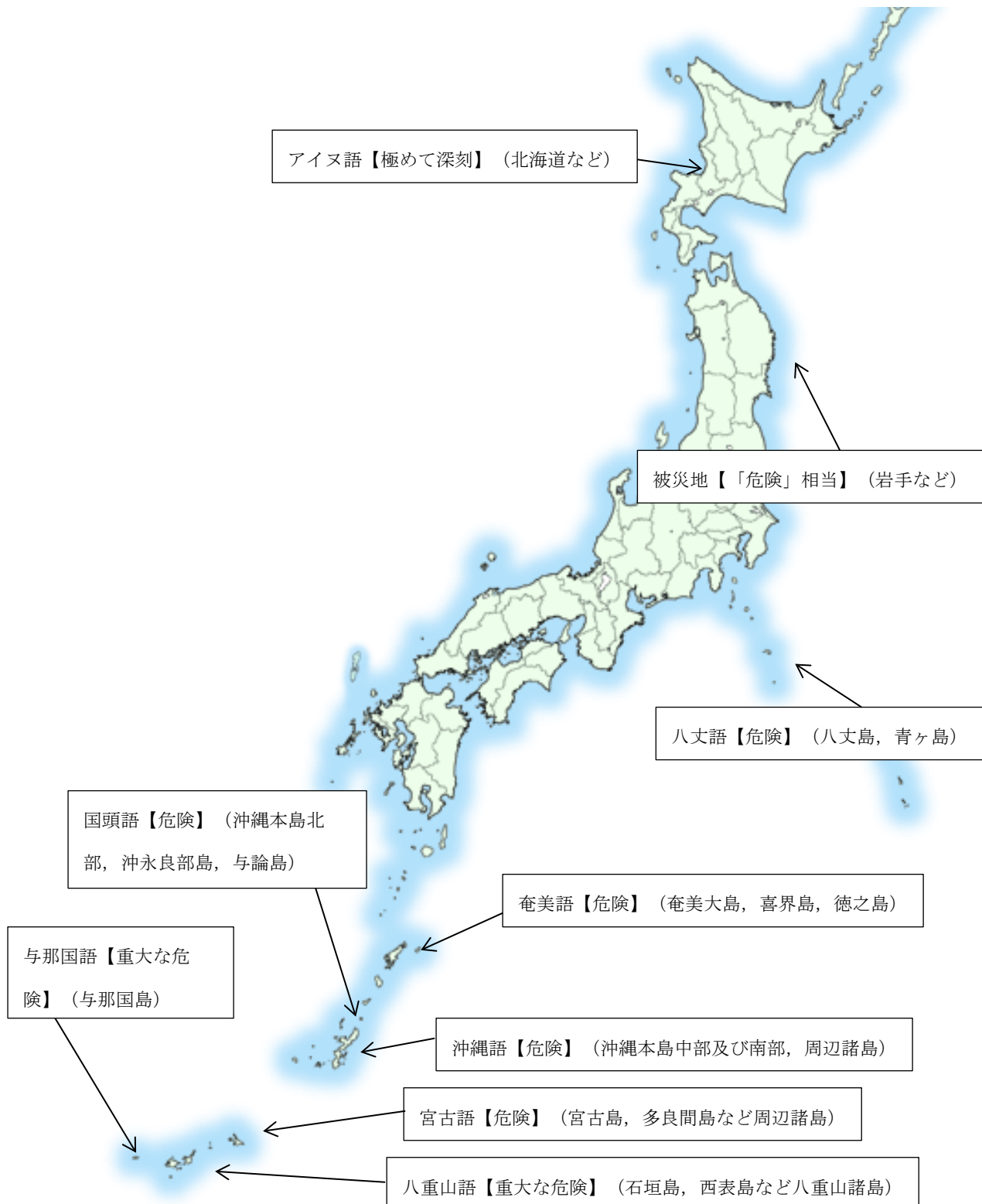
15:30 終了

アンケートへの御協力をお願いいたします。

“Atlas of the World’s Languages in Danger” (UNESCO2009)

で消滅の危機にあるとされた日本国内の言語・方言 及び

東日本大震災の被災地の方言



危機の度合いの判定基準

いろいろな研究者が判定基準を提唱してきたが、主として現在、ユネスコ（消滅危機言語に関する専門家グループ）が2003年（平成15年）3月に発表した「言語の体力測定」（9項目・各6段階）に基づいて総合的に消滅の危機度は判定されている。

（1）その言語がどの程度 次の世代に伝承されているか。

（2）母語話者数

（3）コミュニティ全体に占める話者の割合

（4）どのような場面でその言語が使用されているのか

（5）伝統的な場面以外で新たにその言語が使用されている場面がどの程度あるか

（6）教育に利用され得る言語資料がどの程度あるか

（7）国の言語政策（明示的、非明示的態度を問わず）

（8）コミュニティ内でのその言語に対する態度

（9）言語記述の質と量

それぞれの項目はどのような目安で判定されるのか？

(1)その言語がどの程度 次の世代に伝承されているか

- 5点 子供を含む全ての世代で使用されている。
- 4点 全ての子供たちが一定の限られた場面で使用している。
- 3点 親の世代以上で使用されており、子供たちは使用していない。
- 2点 祖父母の世代以上で使用されており、親、子供の世代は使用していない。
- 1点 曾祖父母以上の世代で使用されており、ほとんどの話者は使用していない。
- 0点 言語を使用する者はいない。

(2)母語話者数

※ 一般に、どの年代以上が使用できるかを基に地域の人口から推計する。

(3)コミュニティー全体に占める話者の割合

- 5点 全員が使用している。
- 4点 ほぼ全員が使用している。
- 3点 使用している者が大半を占める。
- 2点 使用している者は少数派である。
- 1点 使用する者はほとんどいない。
- 0点 誰も使用していない。

(4)どのような場面でその言語が使用されているか

- 5点 全ての場面で、全ての目的のために使用されている。
- 4点 二つ以上の言語が、全ての場面で、全ての目的のために使用されている。
- 3点 家庭の場面では使用されているが、支配的言語が家庭でも使われ始めている。
- 2点 限られた場面、幾つかの目的のために使用されている。
- 1点 ごく限られた場面で使用されるだけで、機能的に使用されることはほとんどない。
- 0点 どんな場面のどんな目的のためにも使用されていない。

(5) 伝統的な場面以外で新たにその言語が使用されている場面がどの程度あるか

- 5点 新たに生活に加わったどんな場面でも使用されている(テレビ放送など)。
- 4点 新たに生活に加わったほとんどの場面で使用されている。
- 3点 新たに生活に加わった一定の場面で使用されている。
- 2点 新たに生活に加わった幾つかの場面で使用されている。
- 1点 新たに生活に加わった場面ではほとんど使用されていない。
- 0点 新たに生活に加わった場面では使用されていない。

(6) 教育に使用され得る言語資料がどの程度あるか

- 5点 確立された書記法と伝統的な文法記述, 辞書, 文字資料, 文学が存在する。行政, 教育で使われる書き言葉がある。
- 4点 文字資料が存在し, 子供たちは学校で言語使用を学んでいる。行政の書き言葉では言語は使用されていない。
- 3点 文字資料が存在し, 子供たちは学校でそれに触れる機会がある。言語使用は奨励されてはいない。
- 2点 文字資料は存在するが, コミュニティー内の限られた者にしか利用されていない。ある者にとって文字使用は象徴的な意味を持つことがある。言語使用は学校教育には取り入れられていない。
- 1点 書記法が存在することは知られている。それで書かれた文字資料が幾つかある。
- 0点 書記法は存在しない。

(7) 国の言語政策(明示的, 非明示的態度を問わず)

- 5点 国内の全ての言語が保護されている。
- 4点 言語は保護されているが, 主に家庭など限られた場面で使用され, 公的には使用されない。
- 3点 言語に関する保護政策は施行されていない。公的場面では支配的言語が使用される。
- 2点 政府は支配的言語の使用を勧めている。言語に関する保護政策は施行されていない。
- 1点 支配的言語のみが公的に使用され, 言語は保護や認知すらされていない。
- 0点 言語の使用が禁止されている。

(8) コミュニティー内でのその言語に対する態度

- 5点 全員が言語を大切にし, 使用が奨励されることを望んでいる。
- 4点 ほとんどの者が, 言語が次世代にも使われることを支持している。
- 3点 多くの者が, 言語が次世代にも使われることを支持している。その他の者は, 無関心であるか, 言語が使用されなくなることを望んでいる。
- 2点 言語が次世代にも使われることを支持している者もいる。その他の者は, 無関心であるか, 言語が使用されなくなることを望んでいる。
- 1点 言語が次世代にも使われることを支持している者は少数しかいない。その他の者は, 無関心であるか, 言語が使用されなくなることを望んでいる。
- 0点 言語が使用されなくなることに関心のある者はいない。全ての者が支配的言語の使用を望んでいる。

(9) 言語記述の量と質

- 5点 分かりやすい文法記述と文字資料が多く存在し、言語資料は常に生産されている。
高い質の録音、録画資料が存在する。
- 4点 良い文法記述が一つあるほかにも、文法資料、辞書、文字資料、文学、それに定期的に更新される日常言語使用の資料が存在する。一定の質の録音、録画資料が存在する。
- 3点 一定の文法資料、辞書、文字資料が存在し得るが、日常言語使用の資料はない。録音、録画資料は、質の高いものも低いものもあり、文字化されているものやされていないものもある。
- 2点 限られた言語学的目的に利用可能な簡単な文法記述、語彙表、文字資料が存在するが、総括的なものはない。録音、録画資料は、質の高いものも低いものもあり、文字化されているものやされていないものもある。
- 1点 簡単な文法記述、短い語彙集、断片的な文字資料が幾つか存在するのみ。録音、録画資料は存在しないか、利用不可能、若しくは全く文字化されていない。
- 0点 言語記述は存在しない。

平成22年度文化庁委託事業「危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究事業 報告書」
(平成23年2月 国立国語研究所)による

※ これらの判定基準を日本においては当てはめると？ ⇒ 次のシートへ

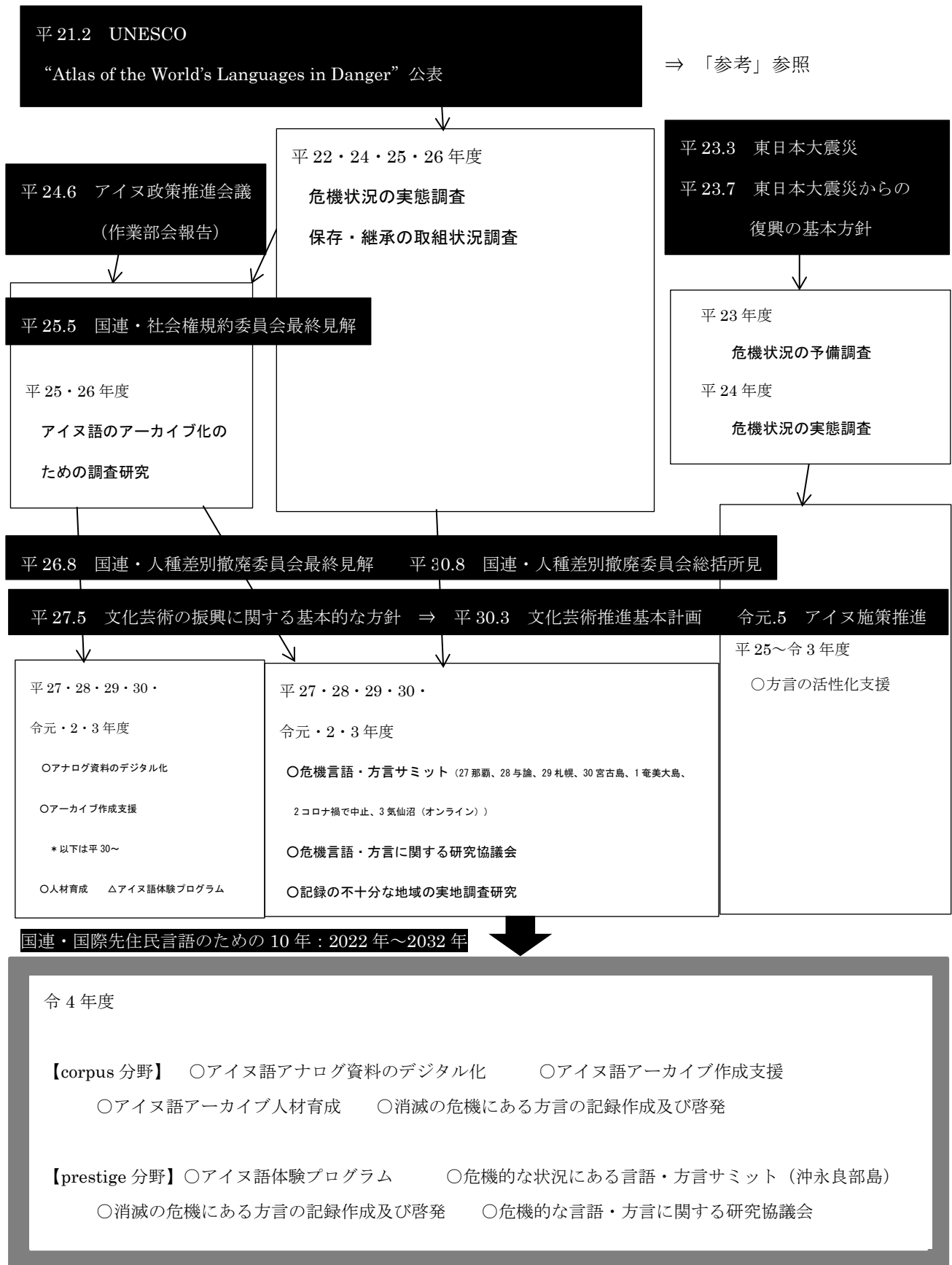
項目	アイヌ語	八丈	奄美 (喜界島)	国頭 (名護 幸喜)	沖縄 (久米 島)	宮古 (多良 間島)	八重 山(宮 良)	与那 国	鹿児島 甬島	岩手三 陸
(1)伝承	1~3	2~3	3	2	2~3	3	2	3	3	2~3
(2)話者 数	ごく少 数	1700	5924	83	1330	2133	数百	393	3210	—
(3)割合	1~3	2	3	2	2	3	2	2	2	3
(4)使用 場面	2	2~3	2~3	2~3	2~3	2~3	2~3	2~3	2~3	2~3
(5)新場 面	1	2	1	0	2	0	1	0	0	1~2
(6)言語 資料	2	2~3	2	1	1~2	1~2	1	1	2	2~3
(7)言語 政策	3	3~4	2~3	1~3	3	3	2	3	2	2~3
(8)態度	2~3	3~4	2~3	4	4	2~3	2	2~3	1~3	2~3
(9)言語 記述	2~4	3~4	2	3~4	2~3	2	2	2	1	2
平均	1.75 ~ 2.63	2.1~ 3.1	2.21 ~2.5	2.25	2.3~ 2.8	2~ 2.38	1.8	1.88 ~ 2.13	1.625 ~2	2.0~ 2.8
判定	極めて 深刻	危険	危険	危険	危険	危険	重大な 危機	重大な 危機	極めて 深刻?	危険?

平成22年度文化庁委託事業「危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究」(国立国語研究所)

平成25年度文化庁委託事業「危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究」(琉球大学)

平成24年度文化庁委託事業「東日本大震災において危機的状況が危惧される方言の実態に関する調査研究(岩手県)」(岩手大学)

危機的な状況にある言語・方言に関する文化庁の取組



ユネスコ “Atlas of the World’s Languages in Danger ” について

参 考

【経緯】

- 1993 年 国連・国際先住民年
- 1995 年～2004 年 国連・先住民の国際 10 年
- 1996 年 ユネスコ “Atlas of the World’s Language in Danger (first edition)” (日本は無し)
- 2001 年 ユネスコ「文化的多様性に関する世界宣言」
ユネスコ「ユネスコ文化多様性に関する世界宣言実施のための行動計画要旨」
- 2001 年 国連環境計画 (UNEP)
“Globalization Threat to World’s Cultural, Linguistic and Biological Diversity”
- 2001 年 ユネスコ “Atlas of the World’s Languages in Danger (second edition)” (日本は無し)
- 2003 年 ユネスコ “Language Vitality and Endangerment” (言語の体力測定)
- 2009 年 ユネスコ “Atlas of the World’s Languages in Danger (third edition)”
※日本のアイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語が消滅の
危機にあると認定される。
- 2010 年 ユネスコ “Atlas of the World’s Languages in Danger (third edition)” 济州語を追加

【日本における消滅の危機にある言語の危機度】 (全世界総数約 2500 言語)

- 絶滅(extinct)〈219〉 → 該当なし
- 極めて深刻(critically endangered) 〈539〉 → アイヌ語
- 重大な危機(severely endangered) 〈502〉 → 八重山語、与那国語
- 危険(definitely endangered) 〈632〉 → 八丈語、奄美語、国頭語、
沖縄語、宮古語
- 脆弱(unsafe) 〈607〉 → 該当なし
- 安全(safe) → 該当なし ※ 〈 〉 内は全世界該当言語総数



【危機度判定の尺度】

ユネスコの消滅危機言語に関する専門家グループが示した「言語の体力測定」に基づいて判定されている。各国の研究者から、下記の尺度による報告がユネスコの消滅危機言語に関する専門家グループに寄せられ、グループの審議によって総合的に判断。

- | | | | |
|--------------------|--------------|--------------------|-------------|
| ①世代間伝承 | ②話者人口 | ③コミュニティ全体に占める話者の割合 | ④言語が使用される場面 |
| ⑤言語が使用される新たな場面 | ⑥教育に使われる言語資料 | ⑦政府の言語政策 | |
| ⑧言語に対する話者コミュニティの態度 | ⑨言語記述の質と量 | | |

消滅の危機にある言語・方言に関する施策の考え方

消滅危機言語の継承のためには、3分野にわたる取組が必要であると危機言語研究者から指摘されている。この3分野に対応した取組をデザインする必要がある。

◆STATUS（公的位置付け）……法律等による公的な位置付け

方言：東日本大震災からの復興の基本方針→中学校学習指導要領解説・国語編

アイヌ語：アイヌ施策振興法、アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本方針

⇒ 既に公的な位置付けが示されている状態にある。

◆CORPUS（言語資源）……辞書、文法書、例文集、教材など

方言もアイヌ語も地域差が大きい

→ 十分な言語資源の整っていない地域の調査研究が必要

⇒ 消滅の危機にある方言の記録作成及び啓発事業
アイヌ語アーカイブ関係事業

◆PRESTIGE（威信、社会的イメージ）……社会的に抱かれているイメージ

危機言語・方言の価値と危機的な状況を伝えていく必要

⇒ 危機的な状況にある言語・方言サミット
消滅の危機にある方言の記録作成及び啓発事業
危機言語・方言に関する研究協議会

2023
1

28

(土)

13:10

17:30

29

(日)

10:00

15:30

おきえらぶ文化ホール
あしびの郷・ちな
鹿児島県大島郡知名町瀬利覚2362

令和4年度

危機的な状況にある

国語
方言

アイヌ
語

奄美
方言

東北
被災地

宮古
方言

沖縄
方言

八丈
方言

与那国
方言

八重山
方言

サミット
in
沖永良部

奄美
大会

The Languages and Dialects in Danger Convention



主催・共催
文化庁、鹿児島県、知名町、知名町教育委員会、
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所、
国立大学法人琉球大学

どなたでも
参加できます
入場無料

会場参加は事前申し込み不要



オンラインでの
参加は事前に
お申込みください



オンラインでの参加は
左記二次元バーコードから
お申込みください
(文化庁ウェブサイト)

日本には消滅の危機にある言語・方言がいくつもあります。アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言、そして、東日本大震災の東北被災地方言など。「危機的な状況にある言語・方言サミット」は、これらの言語・方言の状況や地域の取組事例の紹介、聞き比べや講演、協議などを通して、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考え、危機的な状況を改善するきっかけとします。

プログラム

 
配信あり 配信なし

1月28日(土) 13:10 ~ 17:30

開会式  13:10 ~ 13:45

沖永良部高校エイサー部によるエイサー披露

開会宣言

文化庁、鹿児島県、知名町の挨拶

基調講演「島ムニの研究・勉強」  13:45 ~ 15:00

ハイス・ファン＝デル＝ルベ先生

休憩 15:00 ~ 15:15

聞き比べ  15:15 ~ 16:00

〔会場〕アイヌ語（沙流方言）、奄美大島、喜界島、徳之島、与論島、沖永良部島

〔収録映像〕アイヌ語（旭川方言、浦河方言）、八丈島、沖縄本島、宮古島、石垣島、与那国島、東日本大震災東北被災地

休憩 16:00 ~ 16:15

島唄・島ムニ披露  16:15 ~ 17:30

沖永良部島で毎年開催されている「島唄・島ムニ大会」出場者などによる島唄と自身の言葉での語りや弁論等を披露。

終了 (予定) 17:30

ハイス・ファン＝デル＝ルベ
Gijs van der Lubbe

言語学博士（琉球大学 2016 年）
博士論文「琉球沖永良部語
正名方言の記述文法研究」執筆
オランダ・サンボルト出身
琉球大学、沖縄キリスト教大学、
名桜大学にて非常勤講師
那覇桜坂劇場にてうちなーぐち教師



新しい生活様式
に基づき、基本
的な感染対策に
御協力ください

1月29日(日) 10:00 ~ 15:30

開会  10:00 ~ 10:05

連絡事項・留意事項

危機的方言の現状と取組の状況  10:05 ~ 10:30

〔収録映像〕木部暢子先生

アイヌ語の現況  10:30 ~ 11:00

〔収録映像〕北海道博物館

休憩 11:00 ~ 11:15

協議「島ムニ継承の取組を家庭に」  11:15 ~ 12:45

沖永良部で方言継承に携わっている研究者、家庭での継承活動を行っている島民、様々な言語継承活動の研究者などによる協議。

ブースアピール  12:45 ~ 13:00

ブース発表での集客のため、島内で島ムニ継承に携わっている方々などの自己アピール。

休憩 13:00 ~ 14:00

ブース発表  14:00 ~ 15:25

島内で島ムニ継承に携わっている方々などが自分たちの取組について紹介。来場者は「ブースアピール」で聞きたいところのめどを立て、自由に巡回。

閉会式  15:25 ~ 15:30

大会宣言、次年度開催地挨拶、知名町教育委員会
の挨拶

終了 (予定) 15:30

※感染症の状況により、プログラム・開催方法などを変更する場合があります。

※感染症対策のために会場の入場制限をする場合があります。

お問合せ

知名町生涯学習課 ☎0997-81-5151

1日目

基調講演

「島ムニの研究・勉強」

琉球大学非常勤講師

ハイス・ファンニデルニルベ

Gijs van der Lubbe

ハイス・ファン＝デル＝ルベ (Gijs van der Lubbe)

言語学博士（琉球大学 2016 年）

博士論文「琉球沖永良部語正名方言の記述文法研究」執筆

オランダ・サンポールト出身

琉球大学、沖縄キリスト教大学、名桜大学にて非常勤講師

那覇桜坂劇場にてうちなーぐち教師



みなさま、こんにちは。

私は、ハイス・ファン＝デル＝ルベです。よろしくお願いいたします。

琉球諸語を研究しながら、琉球大学、沖縄キリスト教大学、名桜大学にて非常勤講師をしております。

みなさんは、私の顔と髪の毛の色を見て、もう疑っているかもしれませんが、私は、沖永良部の人ではありません。

オランダから来ましたが、今沖縄に住んでおります。

今日は、できるだけ沖永良部語でお話しします。沖永良部語が分からないかたは、すみませんが、テロップを読んでください。字幕があるので、ぼーとしなくてもいいです。

オランダの西部の出身で、沖永良部語は、私の故郷で使いません。私は、琉球大学

むに

で博士号をとり、沖永良部語の正名 物言 が博士論文のテーマだったため沖永良部語を覚えたのです。習った言葉は、正名言葉なので、私は、「ちゅっこい、たっこい、みっこい（一回、2回、3回）や、「あまがち、ふまがち」や、「あっくでよ！」などを使います。島外のかたは、なぜ面白いのかと思うかもしれません。その話しは、後ほどします。

今日、私が話す内容は、沖永良部語の研究と勉強です。主に私の経験に基づいています。これまで私が体験して生きたものが、沖永良部語を研究するきっかけと強く結びついているため、今日の話の軸になります。

今回、ここで何か話しをするように、頼まれたのは、非常に光栄に思います。その前に一つだけお話しさせてください。私は、この島で生まれていません。そのため、沖永良部の人々を代表したり、沖縄の人々を代表して物をいうことはできません。それをしてはいけません。なぜなら、私は、オランダ語を話すオランダ人だからです。誰かが私に英語を使ったら、別に嬉しくないですが、誰かがオランダ語を使ってくださったら、とても嬉しいです。オランダ語が私の心の言語です。

私は、オランダ語で育ち、近所の友達とオランダ語を喋りながら遊んで来て、学校でオランダ語の読み書きを習い、オランダで就職の面接をオランダ語でし、オランダ語で小説を読んできています。家で使っている言語を学校で使うと、叱られたこともなく、私の母語で足りない、私の母語で世を渡っていけないと言われたことも感じたこともないです。

そして、学校では、オランダ語の話し言葉と書き言葉の違いを習ってきましたが、誰にも、私の言語を使うなと言われたことがないです。私の故郷の言葉は、例えば、日本でいうと、関東言葉のようなものなので、教育やメディアでは、マジョリティの言語、威信言語になります。それは、少数言語の研究をする前には、考えたことはなかったです。どのぐらい特権を持っているかが分かりました。出世のために、自分の慣習や言語を封印したり、捨てたりして、自分の子供にわざと受け継がせないことや、自分の両親や祖父母世代にわざと出身地の文化を教えてもらえなかったことなどは、経験したことはないです。

また、私がオランダ西部出身であることと、金髪で目が青い外見とで、オランダのどこに行っても、「西部の人は、どうのこうの」と、馬鹿にされません。今の話は、威張って言っているわけではなく、自分の特権を認識しているわけです。

つまり、危機言語の研究をすると、言語差別や地域差別から理解しなければならないのです。

大切な話なので、必ず言いたかったのです。

こんな顔で琉球諸語を研究したり、しゃべったりすると、なぜそうなったのかということから説明しなければなりません。

実は、最初日本語に興味を持っていました。この話をすると、年がバレますが、16歳のころ、相撲を見るようになりました。ちょうど‘若貴ブーム’でとっても盛り上がって、ヨーロッパのスポーツチャンネルでも相撲（日本相撲）を放送するようになっていました。最初は、‘太っちょの戦い’と見て、笑いながら見ていましたが、すると、技も少し分かって、色々な儀式、土俵入りを見て、「これは面白いなあ。こんなスポーツを生み出した文化は、どのようなものなのか」と思って、調べはじめま

した。そうすると、日本語も覚えたくなり、オランダのライデン大学という大学で日本語学を勉強することに決めました。

日本語をオランダで勉強しても、なかなか上手にならなかったのも、2年生の時に留学しました。ライデン大学は、長崎にあるハウステンボスと協定があり、毎年、日本語学科の学生を20人送っていました。平日は、ライデン大学の別館で大学のカリキュラムの授業を受け、週末は、ハウステンボスでアルバイトをして、職場の同僚と日本語を使い、上達するという形式のプログラムでした。

バイト先の同僚が使う日本語を聞いた時、驚きました。「これは、教科書の日本語と違うなあ」と思っていました。「何ばしよっと?」、「ばってん」、「けん」などを使っていました。難しかったです。私にとっては、面白くもありました。

さらに、一人の同僚は、沖縄出身でした。その同僚とおしゃべりをして、沖縄言葉が話の話題になりました。「沖縄の言葉は、長崎の言葉と似ている?」と聞いたところ、「いや、ぜんぜん違うよ」と言っていました。「どう違うの?」と尋ねたところ、「例えば、‘何をしているのか’は、‘ぬーそーが?’というんだよ」と言っていました。「何ばしよっと?」は、まだ分かりますが、「ぬーそーが?」は、意味が分かりませんでした。

その時からいろいろ調べてみて、琉球諸語のことが分かりました。そして、日本語学科を卒業して、言語学の修士課程に進むことに決めました。その時に、琉球諸語のことを思い出しました。オランダから日本にいる友達に頼んで、さまざまな本と沖縄語の教科書を買って送ってもらいました。

現地に行って、調査をして、修士論文として琉球諸語の中の一つの言語の文法書を書きたかったのですが、琉球列島に知り合いがいなかったため、勇気を出して、琉球諸語を専門とする先生にメールを送りました。その先生に久米島の人を紹介していただきました。それで、オランダから沖縄に行って、3週間、久米島で調査をしました。

久米島は、非常に興味深いところであり、琉球諸語をさらに詳しく調べたかったので、修士を終わらせて、博士課程まで修了したいと思っていました。

博士号は、琉球大学でとることになりました。文法記述をしたかったのですが、どの言葉を調べようか、迷っていました。指導教員のかりまたしげひさ先生と相談したら、「資料が少ない、記述がまだ足りない言語を調査した方が良いのではない

か」と言っていました。「例えば、伊平屋島とか沖永良部島とか」。そう言われて、すぐ沖永良部に行こうと思いました。伊平屋島も非常に面白いと思いますが、沖永良部が大昔、北山の国の最北端でもあったし、1609年に薩摩藩に奪われたので、文化的に興味深いと思っていました。言語のことを調べてみたら、琉球諸語に属しているが、その中の区画では、沖縄語に近いのか、奄美語に近いのかが議論されているようで、さらにどのような言語かが興味を持ちました。

その話をもう少し続けます。琉球諸語を大きく二つに分けることができます。喜界島、奄美大島、徳之島、沖永良部、与論、沖縄は、北琉球語群で、宮古、八重山、与那国は、南琉球語群です。要は、沖永良部語は、北琉球語群に入ります。北琉球語群と言っても、喜界島、奄美、徳之島、沖永良部、与論、沖永良部の人々は、お互いに自分の言語で会話できないくらい異なっています。ヨーロッパの言語でいうと、オランダ語とドイツ語と同じくらい離れているみたいです。北琉球語群のさらに詳しい区画は、難しいようです。言語の音声を見れば、沖永良部語は、与論語と沖縄北部の言葉と一つのグループをなしているように見えますが、語彙、単語を見れば、沖永良部語は、徳之島語と奄美語とグループをなしているように見えます。文化的には、沖永良部は、奄美と徳之島よりも沖縄に近いようです。民謡を聞けば、沖永良部で歌われてきている歌は、大島歌よりも圧倒的に沖縄の歌に近いようです。なので、絶対こうだとは、言えませんが、もともと大島と徳之島に近い言語を話す人たちが、北山の国の下になって、文化的にも言語的にも、沖縄から強い影響を受けてきて、今の沖永良部になったかもしれません。さらに詳しい研究は、歴史言語学の方法論が分かる先生方に任せたいと思います。沖永良部語の記述研究が進むと、歴史的な研究にも新しい道が開くのではないかと思います。

そのような面白い話があるので、私も沖永良部語を研究しようと思ったのです。

私が沖永良部島に初めて来たのは、2012年でした。来てすぐに好きになりました。建物を見たら、大和っぽいですが、人は、沖縄の人と近い感じでした。島の方は、金髪で目が青い私と会っても緊張せず、相手にしてくださいました。沖縄では、「いちゃりば、ちょーでー」（出会えば、兄弟）と言いますが、沖永良部がまさにそのとおりです。「民宿はまゆう」のオーナーが「島の言葉のことを調べたかったら、民俗資料館ぬ先田光演先生に聞けばいいんだよ」と言っていました。すぐ民俗資料館まで送ってくださって、そこで先田先生と会いました。

先田先生は、沖永良部のどこの言葉を調べたらいいかを一緒に考えてくださって、

あぜふ

民俗資料館に近い 畦布 のかたに電話して、すぐ畦布まで連れて行ってくださいました。畦布は、組踊が継承されていることで知られています。畦布で紹介していた

かね

だいたかたは、森 カ子 先生でした。森先生は、今は、もう亡くなられて、いらっしゃいませんが、大正生まれで、畦布言葉の独特の発音を残していました。畦布言葉においては、もともと「シ」(shi)と「スイ」(si)、「チ」(chi)と「ツイ」

(tsi)の発音が区別されています。そのような区別が残っている地域は、北琉球に少ないですが、琉球の古典音楽を学習する人は、かならずマスターしなければなりません。古典の歌と組踊でその区別が大切です。畦布で組踊が継承されているから、その発音の区別も継承されているとは、一概に言えませんが、面白いとは思っています。

かね

畦布の森 カ子 先生と何回か調査をしました。先生は、体調を崩して、本土にいる子供の家に住むことになりました。

先田先生が、畦布だけでなく、なるべくいろいろな集落の言葉を調べたら、面白いとおっしゃっていましたので、いろいろな人を紹介していただきました。そして、ち

よこやまあきこ

ょうど研究仲間の 横山 晶子 さんが沖永良部の東の国頭の言葉を調査していましたので、私が西の方で調査をしたほうがいいと思って、先田先生に聞いてみました。「島の西の方でいちばん面白い言葉は、どこの言葉ですか？」と尋ねたところ、先生は、1秒も考えずに「正名の言葉だ」とすぐ答えました。「正名の人々も面白いし」とおっしゃっていました。

それで、先田先生は、林とみぎしさんを紹介してくださいました。林さんは、また、西直実さんと盛本典子さんを紹介して下さって、正名言語の調査と勉強が真剣に始まりました。

正名言語の面白さについて話をさせてください。島外の人にとっては、分かりにくいと思いますが、沖永良部の人にとって正名言語は、なぜ面白いのか。正名と住吉は、言葉がほとんど一緒ですが、正名の人が口を開けた瞬間、他の集落の人には、「正名の人だ」ということが分かるのです。

正名言葉のどのようなところが変わっているのでしょうか。まず、イントネーションです。私は、オランダなまりの所為か、正名言葉のイントネーションを綺麗に真似できません。他集落の人が私の沖永良部語を聞けば、すぐ「あなたはなぜ正名言葉を使っているのか？」と聞かれますが、正名の人からは、「正名言葉を勉強しているのに、なんでまだ正名のイントネーションになっていないのか？」と言われます。

イントネーション以外にも正名言葉に特徴があります。

「うだがち いきんよ」（どこに行くのか）のように方向をあらわす助詞「がち」（に・へ）は、田皆、正名、住吉の三つの集落でしか用いられないようです。他集落では、「ち」（に・へ）が用いられるようです。「あまがち、ふまがち」（あそこに、ここに）は、「あまち、まーち」というようです。

もう一つの正名言葉の特徴は、相手のことを敬って「なた」（あなた様）より「うい」（あなた様）ということです。同輩や自分より若い人には、沖永良部のどこに行っても「うら」（きみ・おまえ）というのですが、先輩に「うら」というと、失礼です。先輩には、「なた」を使う集落が多いですが、正名、住吉、田皆では、「うい」を使ういます。「うい」が使われる地域は、昔もっと広がったようです。面白いことに、徳之島でも相手を敬って、「うい」、または、「うり」を使う地域があるようです。

単語の違いは、その他にもあります。カラスのことは、沖永良部語で「がらし」と言いますが、正名では、「がらほい」と言います。

単語だけでなく、音の違いもあります。和泊では、「うちゃ」（あなたたち）「わちゃ」（私たち）と言いますが、知名や正名などでは、「うきゃ」「わきゃ」と言います。

和泊の「ちゃ」「ち」「ちゅ」などが西の方では、「きゃ」「き」「きゅ」になる例がもっとあります。例えば、日本語の「行く」「聞く」「書く」のような、「く」で終わる動詞は、和泊では、「いちゅん」「ちちゅん」「はちゅん」ですが、知名では、「いきゅん」「ききゅん」「はきゅん」です。正名、住吉、田皆では、「いきん」「ききん」「はっきん」になります。

正名の言葉と住吉の言葉が似ているのは、分かっていましたが、正名の言葉の特徴を並べてみると、田皆の言葉とも似ているところがあることが分かりました。しかし、田皆の言葉のイントネーションや伸ばすところが正名と住吉と異なっているので、沖永良部の人が聞けば、同じように感じないでしょう。

沖永良部語の勉強

これから沖永良部語の勉強の話をします。

語学の勉強の方法がさまざまありますが、効果的な方法は、コミュニケーションを中心とする方法です。

私は、10年前に友人と一緒に沖縄語の勉強会を立ち上げ、今も続けています。いろいろ試行錯誤してきました。最初は、日本語の文章を沖縄語に訳する、「文法翻訳方法論」で教えていました。参加者は、その場では、うまく翻訳できていましたが、その後、会話の練習をしてみたところ、ぜんぜん定着していませんでした。生徒の上達が遅くて、方法を何度か変えてみましたが、4年前にコミュニケーションを中心とした方法に変えたら、初心者でも一気に伸びました。

コミュニケーションを中心とした語学教育法は、特に危機言語の再活性化にいいです。なぜなら、継承、再活性化に必要なのは、その言語のことが分かる人よりも、その言語を使う人を増やすことが大切です。ここでは、方法論の話をすると、明日になってしまうので、興味がある方は、後でおしゃべりしましょう。

危機言語の再活性化に一番重要なのは、話せる人を増やすことで、それには、教育法は、確かに大事ですが、これがすべてではないです。その危機言語を習得できる環境を作ることも同じぐらい大事だと思います。

少し説教しているような話になりますが、そうでもないです。

危機言語が習得しやすい環境を作るのに、誰でもできることがあります。その言語があまり話せない人は、積極的に勉強することが一番大事ですが、すでに話せる人にもできることが多いです。いくつか紹介します。沖永良部語で言いますが、どの言語にも当てはまると思います。

1) 沖永良部語が分かる人に対して沖永良部語を使います。そうすると、勉強したい人にも聞く機会が増えます。

2) 沖永良部語を勉強したい人に対しても沖永良部語を使います。100%分からなくてもいいです。私に辛抱強く、沖永良部語をしゃべってくれる人のお陰で、何とか話せるようになりました。

3) 勉強中の人の沖永良部語がおかしいと思っても、笑いながら「あんたが言っているのはおかしいよ」と言わず、沖永良部語で返します。そうすると、まだまだな人も沖永良部語が使いやすくなる環境ができます。

4) 人の使う沖永良部語をバカにしません。沖永良部語には、地域差も多いし、世代差もあります。日本語の影響が強い沖永良部語もあり、日本語の影響が少なく、昔のような沖永良部語もあります。どちらも沖永良部語です。私は、なるべく日本語の単語を使わずに沖永良部語を使いたいたいが、それは、あくまでも私の趣味です。私と同じ趣味の人もいますが、「100パーセント沖永良部語ではやりすぎ。今は誰もそんな喋り方しない。」という人もいるかもしれません。心の中でそう思っても、自分の沖永良部語を磨くことは、悪いことではないですから、お互いに尊重しましょう。

5) 沖永良部語を使わない言い訳を捨てましょう。琉球に住んでもう少しで11年になりますが、地元の言葉を使わない言い訳をいっぱい聞いてきました。その中から二つを紹介します。

「私より上手な人がいるから、使わない。」

人と比べてばかりの人生を自ら選ばない方がいいと思います。私や沖永良部語を勉強したい人にとって、みなさんの地元の言葉を聞けることは、またとないチャンスで、多くを学ぶことができるのです。

「私は、地元の言葉について本を書いて、継承にじゅうぶんに貢献しているから、私は使う必要がない」

本を何本書いても、言語は、博物館において継承できるようなものではないです。地元の言語ができるのに、あえて使わないのは、その言語を消すのと同じです。

「若者は教えても分かんし、やらんよ。」そんなことは、無いと思います。みなさんの言葉に興味を持って、勉強したいと思っている方が多くいると思います。実際に、私がやっている勉強会に参加している人は、ずっとやりたかったけど勉強方法がわからない若い世代の多くが参加しています。若い世代も生活環境は、ここ沖永良部にあります。みなさんの気持ちの準備が整えば、あとはみんなでやっていくしかないと思うのです。

明日から私たちにできることは何でしょうか。昨日と同じような生活を送るか、沖永良部語の継承のために今まで以上に試してみるか、みなさんがどうしたいかで沖永良部語の寿命が変わっていくのです。

長くなってしまいましたが、これで私の独り言を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

1日目

危機的な状況にある 言語・方言の聞き比べ

「聞き比べ」テキスト

「聞き比べ」では、

シーン1 「初対面での挨拶」

シーン2 「大勢を前にしての挨拶」

シーン3 「知り合いと会ったときの挨拶」

シーン4 「お土産渡し（一人称複数表現）」

シーン5 「天気の話（否定疑問）」

を、それぞれの地域の言葉にして語っていただきます。

なお、必ずしも逐語訳にはこだわらず、実際に使い得る表現を意識していただきました。そのため、該当する表現がないという場合もあります。また、表記は翻訳者から提出されたものをそのまま使い、相互に対照しやすいように位置の調整を行いました。

＜シーン1：初対面での挨拶＞

- ① はじめまして。
- ② ●●●●と申します。
- ③ お会いできて光栄です。
- ④ よろしく願います。

＜シーン2：大勢を前にしての挨拶＞

- ① 皆さん、こんにちは。
- ② ○○出身の●●●●と申します。
- ③ 今日は、ようこそいらっしゃいました。

＜シーン３：知り合いと会ったときの挨拶＞

- ① こんにちは。
- ② お久しぶりです。
- ③ お元気ですか。
- ④ それじゃあ、お元気で。
- ⑤ さようなら。

＜シーン４：お土産渡し（一人称複数表現）＞

- ① これはお土産です。
- ② ありがとうございます。
- ③ 今のうちに私たち（＝お土産を持ってきた人も含む）で食べてしまいましょう。
- ④ 後で私たち（＝お土産を持ってきた人は含まない）でいただきましょう。

<シーン5：天気の話（否定疑問）>

- ① 明日、雨は降らないですか。
- ② はい／いや 降らないですよ。
- ③ はい／いや 降りますよ。

【翻訳者・話者】

<会場登壇分>

奄美大島：鈴木 るり子

徳之島：富田 保子

沖永良部島・東部：田中 美保子

沖永良部島・西部：林 富義志

喜界島：喜禎 光弘

与論島：菊 秀史

沖永良部島・中部：沖 良子

アイヌ語・沙流：関根 摩耶

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老：山丸 賢雄

アイヌ語・旭川：早坂 駿

青森・八戸：桎谷 伸夫

八丈：川上 絢子

宮古・多良間：来間 玄次

与那国：宮城 政三郎

アイヌ語・十勝：荒田 このみ

アイヌ語・浦河：桐田晴華

宮城・名取：伊藤 恵子

沖縄・那覇：大田 利津子

八重山・宮良：山城 直吉

<シーン1：初対面での挨拶>

- ① はじめまして。
- ② ●●●●と申します。
- ③ お会いできて光栄です。
- ④ よろしく申し上げます。

<会場登壇分>

奄美大島（鈴木 るり子）

- ① ハジメエティ ウガミンショロー
- ② 鈴木るり子（スズキルリコ） ッチ イュームン ダリヨヲスィガ
- ③ ウガミュン クトウヌ ディキィリヤヲティ イッチャリヨヲタ
- ④ ドーカ イッチャ タンミヤヲスィガ

喜界島（喜禎 光弘）

- ① ハジメティデンヤー
- ② 喜禎光弘（キテイミツヒロ） テーチ イウンムンデンガ
- ③ オーインクトウガ ディキティ ホーラサレンドー
- ④ ドーカ ユカンベー タンメーラ

徳之島（富田 保子）

- ① ハジィミィティ ダレンヤ
- ② 富田保子（トミタヤスコ） チ イウムンダレン
- ③ オーラッティ ホウラハレユンド
- ④ イタハルグウトウ タンベユンド

与論島（菊 秀史）

- ① ドーカ パジミティ フガミヤービラン
- ② ワナー ユンヌヌ 菊秀史（キクヒデノリ） チャービュン
- ③ シューヤ （ウレー） フガマリティ ミッタン イシヨーシャイビュイ
- ④ ドーカ ヨロシク ニゲーシャービラン

沖永良部島・東部（田中 美保子）

- ① ハジミティ ディロヤー
- ② 田中美保子（タナカミホコ）ディ イヤーブン
- ③ ヲウガミヌ クトゥ ディキティ アリガタサアヤブンドー
- ④ ウダヌ シャーブラー

沖永良部島・中部（沖 良子）

- ① ハジメティ オーヤブンヤー
- ② ワヌワ 沖良子（オキリョウコ）ディ イヤアブン
- ③ オーラティ ユカア アヤブタン
- ④ ユカアヨー ウダヌシャブラー

沖永良部島・西部（林 富義志）

- ① ウガミヤブラ
- ② 林富義志（ハヤシトミギシ） デロ
- ③ オーラッティ フーラシャ アヤブン
- ④ ウダヌシャブラ

アイヌ語・沙流（関根 摩耶）

- ① イランカラプテ
- ② 関根摩耶（セキネマヤ） セコロ クレヘ アン
- ③ ウヌカラン ワ ソンノ ケヤイコプンテク
- ④ ウアムキリアン ナ

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老（山丸 賢雄）

- ① イランカラプテ
- ② 山丸賢雄（ヤママルケンユウ） アリ クレヘ アン
- ③ ウヌカラアン エアシカイ ワ クヌペツネ
- ④ （当てはまる表現なし）

アイヌ語・十勝（荒田 このみ）

- ① イシオロレ
- ② 荒田このみ（アラタコノミ） アリ クレ アン
- ③ ウヌカラアン ワ クキウピリカ
- ④ （当てはまる表現なし）

アイヌ語・旭川 (早坂 駿)

- ① アシンノ エシヌカラアン ア ナ
- ② 早坂駿 (ハヤサカシュン) セコロ レアンペ クネ。 ルウェ ネ。
- ③ ウヌカラアン ワ クエキロロアン
- ④ (当てはまる表現なし)

アイヌ語・浦河 (桐田 晴華)

- ① (当てはまる表現なし)
- ② 桐田晴華 (キリタハルカ) アリ クレヘ アン
- ③ ウヌカラアン エアシカイ ワ クヌチャクテク
- ④ (当てはまる表現なし)

八戸 (梶谷 伸夫)

- ① マイドサンデアンス
- ② マサヤノブオドモウシアンス
- ③ オアイスルゴドァデギデアリガダガンス
- ④ ヨロシグオネガイイダシアンス

名取 (伊藤 恵子)

- ① ハズメマステ。 オハヅニオメニカカリマス
- ② イトウケイコ デ。
- ③ オアイデキテ イガッタガス
- ④ ヨロスグ オネガイシマス

八丈 (川上 絢子)

- ① ハジメエタシテ
- ② ワラ カワカミアヤコ トイーイタソワ
- ③ イキョウエテ コウエイデ オジャロワ
- ④ ヨロシク オネゲイ シイタソワ

沖縄・那覇 (大田 利津子)

- ① 初 (ハジ) ミティヤータイ
- ② 大田利津子 (オオタリツコ) ンリ イチヨーイビーン
- ③ イーチェーウガリ イッペー シェーウェー ヤイビーン
- ④ ユタサルグトウ 御願 (ウニゲ) ーサビラ

宮古・多良間 (来間 玄次)

- ① パズミティドウ アリィワーリ° ナー
- ② アヌーバー 来間玄次 (クリマゲンジ) ティードウイ° イ
- ③ イジェーツワーリッティ プカラスムヌ
- ④ ンメナー ウニガイシュー

八重山・宮良 (山城 直吉)

- ① ミッシタボンナーラー
- ② 私 (バー) ヤ 山城直吉 (ヤマシロナオキチ) ディー ドゥアンズユー
- ③ 会 (ア) ウクトゥヌ叶 (カナ) イ 産 (スイ) ディ果報 (ガフ) ユ
- ④ ドーディンヤ 御願 (ウニガイ) ヒーホーリ

与那国 (宮城 政三郎)

- ① ハディミィティドウ ナイブル
- ② ミヤギセイサブロウ ドウ ナイブル
- ③ トゥバイワイ トユマリ タバイワイ
- ④ ンサルンニ タンディ

＜シーン2：大勢を前にしての挨拶＞

- ① 皆さん、こんにちは。
- ② ○○出身の●●●●と申します。
- ③ 今日は、ようこそいらっしゃいました。

＜会場登壇分＞

奄美大島（鈴木 るり子）

- ① ヒンマヤ ウガミンショーラン
- ② ウケンソン イキガチウマレヌ 鈴木るり子（スズキルリコ）
ダリョヲスィガ
- ③ キューヤー イッチャガディ イモッタボチャヤ

喜界島（喜禎 光弘）

- ① ウガミンセーラ
- ② キカイチョウ ワンカラチャン 喜禎光弘（キテイミツヒロ）テーチ
イウンムンデンガ
- ③ スーヤー ユー ウモーチ タボーチャ

徳之島（富田 保子）

- ① ウィタ ウィタ キューウガメーラ
- ② トクノシマヌ ケィードウノ 富田保子（トミタヤスコ）ダレン
- ③ キュウヤ ユー モウレタガ

与論島（菊 秀史）

- ① グスーヨー フガミヤービラン
- ② ワナー ユンヌヌ 菊秀史（キクヒデノリ）チャービュン
- ③ シューヤ イェーポーティタバーチ トートウガナシ

沖永良部島・東部 (田中 美保子)

- ① ムールナゲー ヲウガミヤーブラ
- ② カゴシマケンヌ イラブジマ クンゼーマーリヌ
田中美保子 (タナカミホコ) ディ イヤーブン
- ③ ヒュウワ ユウ モーチ クリヤブタンヤー

沖永良部島・中部 (沖 良子)

- ① ムンナゲ ヲウガミヤブラー
- ② ワヌワ ワドウマイチョウヌ グラル ウマアリヌ
沖良子 (オキリョウコ) ディ イヤーブン
- ③ ヒューワ ユー ウモーチィ クリヤブタン

沖永良部島・西部 (林 富義志)

- ① ムーナゲ ウガミヤブラ
- ② ワナ チナチョウ マサナヌ 林富義志 (ハヤシトミギシ) デロ
- ③ ヒューワ ユウモーチクリタン

アイヌ語・沙流 (関根 摩耶)

- ① ニシパ ウタラ カッケマツ ウタラ イランカラプテ
- ② ビラトリチョウコアパマカプ ク ネ ワ
関根摩耶 (セキネマヤ) セコロ クレヘ アン
- ③ タント アナクネ エチコプンテク ナ

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老 (山丸 賢雄)

- ① イワンケノ エチオカイ
- ② 白老 (シワオイ) オッタ クシコ ワ クスクプ
山丸賢雄 (ヤママルケンユウ) アリ クレヘ アン
- ③ ヘタク アフプ ヤン

アイヌ語・十勝 (荒田 このみ)

- ① クコロ ウタラパ ウタラ。 イシオロレ
- ② カムイ オッタ クシクオ ワ 荒田このみ アリ クレ アン
- ③ タント アナクネ ピリカノ エチアラキ ワ イヤイライケレ

アイヌ語・旭川 (早坂 駿)

- ① トテクノ エソカイ ルウェ
- ② アサヒカワ オッタ シクオ プ クネ 早坂駿 (ハヤサカシュン)
セコロ レアンペ クネ ルウェ ネ
- ③ イイソネカ エサラキ

アイヌ語・浦河 (桐田 晴華)

- ① インネ ウタリ オピッタノ イワンケ ワ アン ヤ
- ② ウラカ オッタ シクオ プ クネ ワ 桐田晴華 (キリタハルカ)
アリ クレヘ アン
- ③ タント アナク ピリカノ エチアラキ ワ クヌチャクテク

八戸 (梶谷 伸夫)

- ① ミナサマガダ、マイドサンデアンス。
- ② ハヂノヘガデドゴノ マサヤノブオド モウシアンス。
- ③ キョウア、ヨグオンデアンシタナス。

名取 (伊藤 恵子)

- ① ミナサン、コンヌツワ。
- ② ユリアゲウマレノ イトウケイコ デス。
- ③ ヨーグキデケダゴダア。

八丈 (川上 絢子)

- ① メンナ オジャリヤロカイ
- ② ワレワ 八丈島ウマレ 八丈島ソダチノ カワカミアヤコ
トイーイタソワ
- ③ ケイワ オジャッテタモウテ オカゲサマ

沖縄・那覇 (大田 利津子)

- ① グスーヨー チューウガナビラ
- ② 那覇 (ナファ) ッンマリヌ オオタリツコンリ イチヨーイビーン
- ③ チューヤ ユーイメンシェービティ ニフェーデービル

宮古・多良間（来間 玄次）

- ① グシューヨー カギピカズ ドゥアリーワーリ°
- ② タラマ ンマリヌ 来間玄次（クリマゲンジ）ティードイ° イ
- ③ キュウヤ シュルーカギウシーワーリー

八重山・宮良（山城 直吉）

- ① ケーランナローリ クヨーマナーラ
- ② 八重山（ヤイマ）ヤ石垣島（イシガキズイマ）又宮良（メーラ）ンガリ
生（マ）マレ 山城直吉（ヤマシロナオキチ）ディ アンズムヌユ
見（ミ）ツシタボーティユ
- ③ 今日（キュウ）ヤ ケーラヌマイ オーリタボーリ シカイトウ
産（スイ）ディ果報（ガフ）ユー

与那国（宮城 政三郎）

- ① ウヤンター ウトゥダンター ガンドゥ キィワイ フガラサ
- ② ドゥナンチマ マリヌ ミヤギセイサブロウ ドゥ ナイブル
- ③ スーウンガム バダバダワイスンニサ

＜シーン3：知り合いと会ったときの挨拶＞

- ① こんにちは。
- ② お久しぶりです。
- ③ お元気ですか。
- ④ それじゃあ、お元気で。
- ⑤ さようなら。

＜会場登壇分＞

奄美（鈴木 るり子）

- ① ヒンマヤ ウガミンショーラン
- ② マネィマネィ ダリョヲスイガ
- ③ ドウクサティ モルンニヤ
- ④ ジャッバ ドウクサ シーモレヨー
- ⑤ マタンキャ ウガミンショロー

喜界島（喜禎 光弘）

- ① ウガミンセーラ
- ② マーリマーリデーソー
- ③ ゲンキデータカイ
- ④ ナリバー ゲンキシ ウモーリヨー
- ⑤ マタ オーエーロー

徳之島 (富田 保子)

- ① ウガメーラ
- ② ミィドウカ ムンダレンヤ
- ③ ゲンキダレンシェ

- ④ ウガシカ ゲンキシイヤ
- ⑤ マタヤ

与論島 (菊 秀史)

- ① (当てはまる表現なし)
- ② フガンドゥーソー
- ③ ゲンキイー

- ④ ガシラボー ゲンキシ フリヨー
- ⑤ ナーヤー

沖永良部島・東部 (田中 美保子)

- ① ヲウガミヤーブラ
- ② ヲウガミドゥーサアタンヤ
- ③ ドウクサ シューテー

- ④ ガーシリャー ドウクサシューキヨー
- ⑤ マタヤー

沖永良部島・中部 (沖 良子)

- ① ヲウガミャブラー
- ② ヲウガミドゥーサ アタンヤー
- ③ ゲンキシューテエー or ゲンキナー

- ④ ガーリャ ゲンキ シューリヨー
- ⑤ マタドー or マタヤー

沖永良部島・西部 (林 富義志)

- ① (当てはまる表現なし もし挙げるならば「ハーイ」)
- ② ウガミドゥーサ
- ③ ゲンキシュンニヤー

- ④ ガンヤラ ゲンキシューリィヨ
- ⑤ マタヤー

アイヌ語・沙流（関根 摩耶）

- ① ○○ へ
- ② ウラヌパシ ナ
- ③ エイワンケ ヤ

- ④ ヤクン アプンノ オカ ヤン
- ⑤ スイウヌカラン ロー

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老（山丸 賢雄）

- ① イランカラプテ
- ② イランカラプテ
- ③ イワンケノ エアナ？

- ④ ヤクン イワンケノ オカヤナニ
- ⑤ サランパ

アイヌ語・十勝（荒田 このみ）

- ① イナンカラプテ
- ② イナンカラプテ
- ③ ピリカノ エチオカイ ル へ？

- ④ ヤクン ピリカノ オカイ ヤン
- ⑤ サランパ

アイヌ語・旭川（早坂 駿）

- ① イランカラプテ ナ
- ② セタツコ
- ③ トテクノ エアン ルウエ

- ④ ピリカノ オカイ ヤン
- ⑤ ヤイトウパレノ オシピ ヤン

アイヌ語・浦河 (桐田 晴華)

- ① エイペ ハ
- ② イタカイ
- ③ イワンケノ エアン

- ④ イワンケ ワ オカイ ヤン
- ⑤ スイ ウヌカラアン ノ

八戸 (梶谷 伸夫)

- ① マイド～。
- ② シバラグダエナア。
- ③ マメデラッタド？

- ④ ヘバ、オメデイロアイ。
- ⑤ ヘバナ～。

名取 (伊藤 恵子)

- ① コンヌツワ。
- ② アヤー ヒサシブリダゴダア。
- ③ ヤアー ゲンキダッタスカア。

- ④ アヤー ンデハマヅー キーツケテネ。
- ⑤ マダ アウガラネ。

八丈 (川上 絢子)

- ① オジャリ ヤローカイ
- ② ヘイテイブリデ オジャロワノウ
- ③ ゲンキデ オジャリヤロウカ

- ④ ソイダアバ ゲンキデヨーイ
- ⑤ イコワヨーイ

沖縄・那覇 (大田 利津子)

- ① ハイタイ ガンジューヤミシェーミ
- ② ミールーサイビーンヤー
- ③ ガンジューヤミシェーミ

- ④ アンシェー ガンジュー シミソーリヨー
- ⑤ マタヤータイ

宮古・多良間 (来間 玄次)

- ① シュリーブナー
- ② ナガイフドウ アタリ° ナー
- ③ シュリーブン

- ④ サーティ ガンジュウシャウ シィワーリヨウ
- ⑤ イトウマ シュウナー

八重山・宮良 (山城 直吉)

- ① ミシャンサー
- ② 見(ミ)ードーホローソーナー
- ③ 頑丈(ガンジュ) ヤッタサー

- ④ アンズカ 頑丈(ガンジュ) ヒーウリヨー
- ⑤ 行(イ) キテクイ

与那国 (宮城 政三郎)

- ① ンマンキヤ
- ② トン ンナニヌタンスヤ
- ③ ンサナ?

- ④ イタ ヒルンドォ ガンドウキイブリヨ
- ⑤ ヒルタヨー

<シーン4：お土産渡し（一人称複数表現）>

- ① これはお土産です。
- ② ありがとうございます。
- ③ 今のうちに私たち（＝お土産を持ってきた人も含む）で
食べてしまいましょう。
- ④ 後で私たち（＝お土産を持ってきた人は含まない）で
いただきましょう。

<会場登壇分>

亀美（鈴木 るり子）

- ① クッラ ミヤーゲェッグア ダリョヲッドー
- ② ウブクリ ダリョラン
- ③ ナマヌ ウチ ワーキャシ ミシヨロヤ
- ④ アトラシ ワーキャシ イタダキヤーロ

喜界島（喜禎 光弘）

- ① ウレー ミヤギデンドー
- ② ウフクンデール
- ③ ニヤマウチ ワーチャジ イタダケーロー
- ④ アトウジ ワンナージ イタダケーロー

徳之島 (富田 保子)

- ① クリィ ニャーゲィダレン
- ② オボラダレン
- ③ ナーヌウチ ワッキャシ コウラデェ
- ④ アトウカラ ワッキャマ モロレユンド

与論島 (菊 秀史)

- ① ウリユー フリヤー ミャーギエービュン
- ② トートウガナシ
- ③ ナマヌキン ウランマージン ワーチャシ コロン (持参者=同年代)
ナマヌキン ウレーインマージン ワーチャ タバーリラン (持参者=目上)
- ④ アトウカラ ワーチャシ タバーラリュンドー

沖永良部島・東部 (田中 美保子)

- ① ウリワ ミヤーギ ディロドー
- ② シッター ミヘディロドー
- ③ ナマヌウチニ ワチャムールシ カマーヤー
- ④ アトウニティ ワチャムールシ モロラーヤー

沖永良部島・中部 (沖 良子)

- ① フリワ ミヤギディロ
- ② ミヘディロ ドー
- ③ ナマヌウチニ ワキャムールシ カマーガー
- ④ アトウティ ワキャ モロユンヤー

沖永良部島・西部 (林 富義志)

- ① ウリワ ミヤーギデロ
- ② ミヘディロ
- ③ ナマニ ワキャムールシ カマーガ
- ④ アトネティ ワキャ カミンヤー

アイヌ語・沙流 (関根 摩耶)

- ① タンペ エチコレ ナ
- ② イヤイライケレ
- ③ タネ アエ ロー
- ④ オカケ タ チェ クス ネ

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老 (山丸 賢雄)

- ① タンペ イモカ ネ エコレアシ ナ
- ② イヤイライケレ
- ③ タネ タンペ アエ ロ
- ④ オカケ タ タンペ チェ クス ネ

アイヌ語・十勝 (荒田 このみ)

- ① タアン ペ イモカ ネ
- ② イヤイライケレ
- ③ タネ タアン イモカ アエ ロク
- ④ オカケ タ タアン イモカ チェ ナ

アイヌ語・旭川 (早坂 駿)

- ① イモカ クコロ ワ クエク ナ
- ② イヤイライケレ フンナ
- ③ タネ タンペ アネ ロク
- ④ オカケ タ タンペ チェ クス ネ

アイヌ語・浦河 (桐田 晴華)

- ① タパンペ イモカ ネ。 エ ヤン
- ② フンナ フンナ
- ③ タネ アネ ノク
- ④ オカケ タ チェ クス ネ

八戸 (梶谷 伸夫)

- ① コレア、オミヤゲデアンス。
- ② アリガトウゴザイアンシタ。
- ③ コノマンマ、オランドデ、クッテシマルベシ。
- ④ アドガラ、オランドデイダダギアンスガラ。

名取 (伊藤 恵子)

- ① アヤー コイツスコシバリダケンドモ モッテイッテケサイン。
- ② アヤー アリガトガス。
- ③ アヤー ハヤグクッテスムベワ。
- ④ アヤー アドガラクウベッチャ。

八丈 (川上 絢子)

- ① コリャヨウ ミヤゲデ オジャロワ
- ② オカゲサマ
- ③ マンノウチニ ワレンセイラデ アガッテ シマイヤロゴン
オメエモ ドウシニ アガロゴン
- ④ アトシャン ワレンセイラデ チョウダイシイタソワ

沖縄・那覇 (大田 利津子)

- ① クレー チトウ ヤイビーン
- ② ニフェーデービル
- ③ 今(ナマ) ウウティ ワッター ッシ マジュン カマナ
- ④ アトウカラ ワッター ッシ カッチーサビーン

宮古・多良間 (来間 玄次)

- ① クレー ツットウ
- ② ヤグミ スディガプー
- ③ ナマヌパダ ベータデーンシー ファー
- ④ アトウカラ アンタデーンシー ウガマナー

八重山・宮良（山城 直吉）

- ① クレー 我（バー）土産（ストウ）ユー
- ② ミーハイユー

- ③ 今（ナマ）ヌウツィナンガ 皆（ムル）サーリ シンコーラ
- ④ 後（アトウ）ガラ 我（バ）ンダータンガサーリ 食（タ）ボーラリンユー

与那国（宮城 政三郎）

- ① ウヤー シトウ ドオ
- ② フガラサー

- ③ ナイビ バンター マドン ハイ نداギィ
- ④ アトン キィ バンタシィ バガイ フン

<シーン5：天気の話（否定疑問）>

- ① 明日、雨は降らないですか。
- ② はい／いや 降らないですよ。
- ③ はい／いや 降りますよ。

<会場登壇分>

奄美（鈴木 るり子）

- ① アチャヤ アミィヤ フリョヲランカイ
- ② オー フリョヲランド
- ③ アイ フリョヲッド

喜界島（喜禎 光弘）

- ① アチャー アメー フレーランカイ
- ② オー フレーラーヤー
- ③ アーイ フレンドー

徳之島（富田 保子）

- ① アチャ アミィヤ フランカヤ
- ② アラン アチャヤ アミィフランド
- ③ アウン アチャヤ アミフィド

与論島 (菊 秀史)

- ① アッチャー アミャー プヤビランヌイ
- ② オー プヤビランドー
- ③ アーイー プヤビュンドー

沖永良部島・東部 (田中 美保子)

- ① ナッチャー アミ フランカヤー
- ② アーイ フランドー
- ③ イン フュンデヤー

沖永良部島・中部 (沖 良子)

- ① ナーチャ アミワ フランドー
- ② ニィ ナーチャ アミワ フランドー
- ③ アナン (or アイ) ナーチャワ アミ フュンドー

沖永良部島・西部 (林 富義志)

- ① ナーチャ アミ フランカヤー
- ② アイ フランガー
- ③ フィヤー

アイヌ語・沙流 (関根 摩耶)

- ① ニサッタ ソモ アプト アシ ルウエ
- ② ソモ アプト アシ ルウエ ウン
- ③ アプト アシ ルウエ ウン

<事前収録動画分>

アイヌ語・白老 (山丸 賢雄)

① ニサッタ アプト アシ カ ソモ キ

② エ アプト アシ カ ソモ キ

③ ソモ アプト アシ ナンコロ

アイヌ語・十勝 (荒田 このみ)

① ニサッタ ルヤンペ ソモ ルイ ル ヘ

② ソモ

③ ルヤンペ ルイ ナ

アイヌ語・旭川 (早坂 駿)

① ニサッタ ルヤンペ ソモ アシ ヤ

② ルヤンペ ソモ アシ ワ

③ ルヤンペ アシ ワ

アイヌ語・浦河 (桐田 晴華)

① ニサッタ ルヤンペ ヘンネ アシ ヤ

② ニサッタ ルヤンペ ヘンネ アシ

③ ニサッタ ルヤンペ アシ ハカイエ

八戸 (榎谷 伸夫)

① アシタ、アメアフラネノガイ？

② ンダ、フラネエヨツテエ。

③ インヤ、フリアンスヨ。

名取 (伊藤 恵子)

- ① アヤー アスタ アメヌナンダベカ。
- ② ダイジョウブダー フンネーガラ。
- ③ アスタ アメダベッチャ。

八丈 (川上 絢子)

- ① アケロヒワ アメワ フリンノウカ?
- ② オウ フリンナカ
- ③ イヤ フロワヨー

沖縄・那覇 (大田 利津子)

- ① アチャーヤ アメー フィビランガヤー?
- ② ウー フィビランロー
- ③ アー フィビーンロー

宮古・多良間 (来間 玄次)

- ① アター アメーフファンゲーライ?
- ② アラン フファンニバ
- ③ オオウ フリ° ドウス

八重山・宮良 (山城 直吉)

- ① 明日 (アツツァ) 雨 (アメー) ヤ降 (ホ) ーヌカヤ?
- ② オー 降 (ホ) ーヌヨー
- ③ アーイ 降 (ホ) ーンヨー

与那国 (宮城 政三郎)

① アッタ アミヤ フラヌカヤ？

② ウォ フラヌンドォ

③ アラヌン フルンドォ

1日目

島唄・島△二披露

「猫女房（じゃーうなぐ）」の概要

亡母は、幼い私を寝かしつけるのに、静かな滑り出しで、てえきい話（昔話）を始めるのでした。

猫女房（じゃーうなぐ）は、亡母の得意とするものでした。

五月五日は、どうして菖蒲と蓬を備えるのか、その謂の話です。

人間（女）に化けた猫（じゃー）が、一人の男を誑かし、貯えていた米俵の米でにぎり飯を作り、猫の子に食べさせる。倉の米俵は日に日に減っていく。

それに気づいた男は、かくれ見をし、正体を知る。猫（じゃー）に山奥に担がれ、生命からがら逃げる。いく先で老人に声をかけ、小屋に匿ってもらう。猫（じゃー）が去った後、小屋から出てみると、そこは小屋ではなく、ただ菖蒲と蓬が生えているだけ。この菖蒲と蓬の香りが人間を救ったという話。

注 「じゃー」とは「化け物」

ミニ健康談義

この年齢になると、先ず健康のことを尋ねるのが
挨拶の決まり文句になっています。

ウントゥシナリバー マズ ケンコウヌ コウトゥバ
タンネールスガ° アイサツヌ キマリモンクニ ナトゥレーリ。

少年時代から一緒に過ごした同級生とは
ざっくばらんに話しかけられる相手であるけれど、
最近なかなか逢えないので電話でお互いの
消息を聞き合って生の声を
聞くのが楽しい。

ワラビヌドゥキカラ マジーニチャン ティットゥシンチャートー
チャッチャートゥ ハナシディキルン アイテジアレースンガ°
チカグロー ナカナカ オーワランカニ デンワジ オタガイヌ
ヨウスバ チチャリッシ ナマノウ クゥイバ
チクンコウトゥガ° ウミッサスジャ。

まず最初の言葉が「あんた、元気かー？生きてるー？」で
その返事が「あー、未だ生きてるよー」

マドゥ ハジミヌ ユミタガ° 「ダー ゲンキナ？イッチュンニャ？」ジ
ウン ヘージガ° 「アー、マダ イッチュンドー」。

その後はお互いガタが来た体のことで
話がはずみ、
同級の誰それがどうしたのこうしたの、と
いろんな情報が入って来る。

ウンアトゥ オタガイニ ガタガ° チャン カラダヌコウトウジ
ハナシガ マリティ、
ティットウシヌ タンガ° サッシナタントウカ アッシナタントウカ
ヌンケンヌ ジョウホウガ° イッチクーリ。

私達は昭和 15 年生まれを中心とした
「いちご会」という喜界島出身の同窓会を
作り、それがもう結成して
20 年余り続いている。
15 年の語呂合わせと、「一期一会」の意味も、
又沖縄でかねて使われている方言
「いちゃりば ちょーでー」も同じ意味で
いい言葉じゃないかということで
「いちご会」に決まりました。）

ワンナーヤ ショウワ15ネンウマリバ チュウシンニサン
「イチゴカイ」 ティイウン キカイジマシュッシンヌ ドウソウカイバ
トゥクティ、ウリガニャー ディキティケーラ
20ネンアマリ トウドウチュレンドー。
15ヌ ゴロアワセトゥ 「イチゴイチエ」ヌイミム
マタ オキナワジ カネィティ カワットウン シマユミタ
「イチャリバ チョウーデー」ム ティットウイミジ
ユカユミター アランナ ティイウンコウトウジ
「イチゴカイ」ニ キマレータ。

「人生100年時代と言われる今、
この先いいことが沢山あるかもしれない世の中だろう。
健康寿命で100歳まで頑張ろうや」と
笑いながら最後にこっちは「島を忘れるなよー、
島の方言を忘れるなよー」と念を押して
年寄りの健康談話(?)は終わります。

ジンセイ100年ジダイテーチ イワリンニヤマ、
ニャマーラ ユカコウトウガ° ガバ アッカムワカラシ ユヌナカジャロー。
ケンコウジュミョウジ 100サイマディ チバローヤ」テーチ
ワラワーヌー サイゴニ ウマーラー「シマ ワッシンナヨー、
シマユミタ ワッシンナヨー」テーチ ネンバウチ
トウシユリヌ ケンコウダンゲー オワリスデンガ°。

同級生の友達って何時も可愛いものですね。

ティットウシヌ ドウシンチャーヤー イトゥム ハナサンムンデンヤー。

● アイヌ語（沙流方言） 関根 摩耶

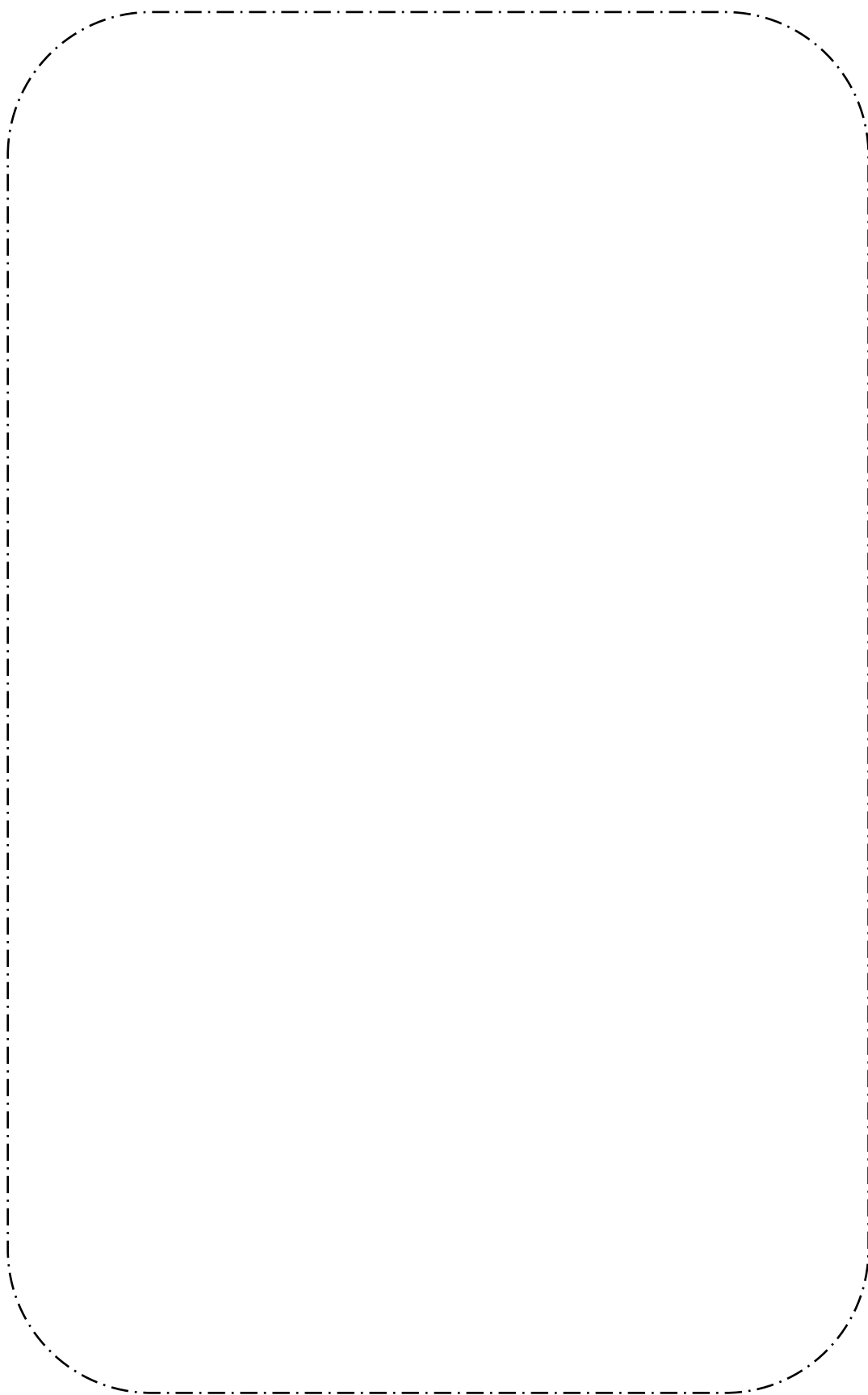
日常生活で感じていることを中心にアイヌ語で弁論を行う（予定）。

● 沖永良部・知名町 中央公民館講座「しまむにサロン」

島ムニによる寸劇

● 沖永良部・知名町 遊弦会せりよさ

沖永良部島の島唄



2日目

危機方言の現状と
取組の状況
—なぜ継承して
いくことが
大切なのか—

元国立国語研究所

木部 暢子

＊「令和３年度 危機的な状況にある言語・方言サミット（気仙沼大会）」に合わせて収録された動画である。

危機方言の現状と取組の状況 —なぜ継承していくことが大切なのか—

令和3年度 危機的な状況にある言語・方言サミット
気仙沼大会 2022年1月29日・30日

国立国語研究所 木部 暢子

1. 危機言語・方言の取組の現状

1.1 方言を記録する:3点セットの作成

1.2 方言を伝える:方言継承の取組

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 危機言語・方言の取組の現状

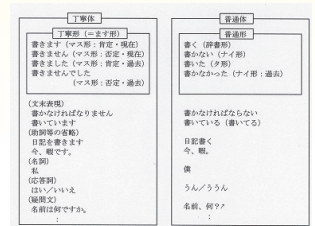
1.1 方言を記録する:3点セットの作成

3点セット

辞書

文法書

談話資料



辞書

文法書

談話資料

- 難しい方言を調べる必要はありません。
思いついた単語を方言に直すだけでよいのです。

<cf.> 国立国語研究所の辞書の調査表



0001	人体	頭	あたま
0002	人体	髪毛	かみのけ
0003	人体	旋毛	つむじ
0004	人体	雲脂	ふけ
0005	人体	白髪	しらが
0006	人体	目	め
0007	人体	眉	まゆ
0008	人体	額	ひたい
0009	人体	鼻	はな

0281	時間	今日	きょう
0282	時間	昨日	きのう
0283	時間	一昨日	おととい
0284	時間	明日	あした
0285	時間	明後日	あさって
0286	時間	明明後日	しあさって
0287	時間	翌日	よくじつ
0288	時間	翌々日	よくよくじつ
0289	時間	今年	ことし
0290	時間	去年	きょねん

- 例文を1つ以上考えてください。

・あたま:あだま[例]あだま いでぢゃ(頭が痛い)

・かみのけ:かむいけ°[例]かむいけ° のンびだぢゃ(髪の毛が伸びた)

(国立国語研究所『青森県むつ方言調査報告書』2020 より)

辞書

文法書

談話資料

丁寧体	普通体
【敬語】(=ます語) 書きます (マス形:肯定・現在) 書きました (マス形:肯定・過去) 書かれました (マス形:肯定・過去) 書かれています (マス形:肯定・現在) 書かれました (マス形:肯定・過去) 【文法表現】 書かなくてもいいです 書いています 日記を書きます 今、書きます 【他動】 書く 【形容詞】 はい、いいえ 【動詞】 名前は何ですか、	【敬語】 書く (サ行変格活用) 書かない (サ行) 書いた (サ行) 書かなくていい (サ行) 書いています (書いてる) 【文法表現】 書かなくてもいい 書いてる 日記書く 今、書く 書く うん／うらん 名前、何サマ

- これも難しく考える必要はありません。
思いついた文例文をあげるだけでいいのです。

- ・あたま:あだま〔例〕あだま いでぢゃ(頭が痛い)
 - ・かみのけ:かむいけ〔例〕かむいけ のんびだぢゃ(髪の毛が伸びた)
- (国立国語研究所『青森県むつ方言調査報告書』2020 より)

辞書

文法書

談話資料



- 「昔話の語り」などを録音してください。
- 2人の会話を録音してください。
- それを文字に書き起こしてください。

A: チョット エ アノー オレ ツリコサ エクダエンダゲントモ。

ちょっと エ あのお おれ 釣りに 行きたいのだけれども。

A: カッパ ダシテ ケロヤ。

合羽[を] 出して くれよ。

B: キョー エクノスカ アンダ ツリコサ。

今日 行くのですか あなた 釣りに。

A: アンダデバ。コ ユナ テンキン ドギ エカネガッタラ エズ エクノ。

そうなんだよ。こう いうのは 天気の とき 行かなかったら いつ 行くの。

B: アー ホント。キョー ツレツペガ ホラー。

あー 本当。今日 釣れるだろうか ほら。

A: ダエジョブ ダエジョブ。

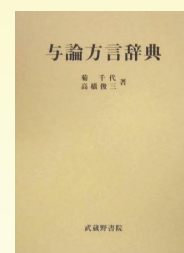
大丈夫 大丈夫。

(国立国語研究所『日本語諸方言コーパス』宮城県仙台市の会話より)



与論語の3点セット

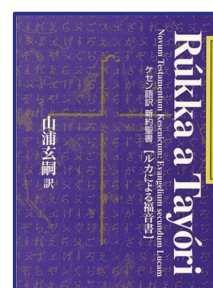
- ・辞書: 菊千代・高橋俊三『与論方言辞典』武蔵野書院、2005年
- ・文法書: 菊秀史『与論の言葉で話そう(1)挨拶、名詞、こそあど言葉・感動詞・副詞』与論民俗村、2006年
菊秀史『与論の言葉で話そう(2)動詞の文型・文法』与論民俗村、2007年
菊秀史『与論の言葉で話そう(3)活用種類別動詞単語集』与論民俗村、2009年
菊秀史『与論の言葉で話そう(4)形容詞、助詞・助動詞』与論民俗村、2014年
- ・談話資料: 菊千代『与論のしまがたり』はる書房、1985年



7

ケセン語の3点セット

- ・辞書: 山浦玄嗣編著、『ケセン語大辞典 上下』無明舎出版、2002年
- ・文法書: 山浦玄嗣『ケセン語入門』共和印刷企画センター、1985年、1989年改訂
- ・談話資料: 山浦玄嗣、『ケセン語訳新約聖書』ルカによる福音書・CD 2003年
マルコによる福音書・CD 2003年
マタイによる福音書・CD 2002年
ヨハネによる福音書・CD 2004年



8

被災地における方言の記録(文化庁事業)

弘前学院大学	かだるびゃ・かだるべし青森県の方言
岩手大学	三陸の声を次世代に残そうプロジェクト
東北大学	被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開
福島大学	福島県内被災地方言情報のweb発信
茨城大学	方言で語り継ぐ震災の記憶

(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/kasseikajigyo/index.html、2021.10.1閲覧)

ネットでの配信

東日本大震災と方言ネット

東北大学方言研究センター

ホーム 当サイトについて 大震災と方言活動情報 センターの取り組み センター情報 リンク

お問い合わせ
住所：〒980-8576
宮城県仙台市青葉区川内27番1号
東北大学大学院文学研究科
国語学研究室内

お問い合わせはこちら

Translation tool
言語を選択

Powered by Google 翻訳

震災発生から10年目の今

東日本大震災の発生から10年が経ちました。私たちのふるさとに大きな被害をもたらした震災は、方言にも大きなダメージを与えました。被災者と支援者とのコミュニケーションギャップの問題が起こったり、地域の弱体化によって方言自体が衰退したりしています。そうした問題に対して、私たちは、被災地の方言を解説するパンフレットを作成したり、日々の生活の中の方言会話を記録したりする作業を行ってきました。

ところで、被災地の復興は進んだのでしょうか。物質文化の復興ははたかに進捗しましたが、精神文化はどうでしょうか。私たちは、ふるさとの再生のためには、心のよりどころとなるものが大切で、その役割を方言が果たしてくれると期待しています。

そうした意味で、私たちは今後とも、ふるさとの方言を後世に伝え、その話し手のみなさんを支援する活動を続けていきたいと考えています。

2021年3月11日
東北大学方言研究センター

東北大学方言研究センター

東日本大震災と方言ネットは、研究面では、これまでの「大震災と方言」の研究成果と、これからの動向の把握を容易にし、今後の研究の効率化・活性化に利するネットワークを目指します。社会的には、被災者・支援者に役立つ情報の発信により、復興への手助けをしていきます。

(<https://www.sinsaihougen.jp/>)

1.2 方言を伝える:方言継承の取組

場所

学校教育

社会活動

方法

方言の教材

昔話・民話・演劇

ネットでの発信

学校教育・方言の教材



鹿児島県奄美

『島唄から学ぶ奄美のことば』2010年かごしま地域文化創成事業奄美地区実行委員会



沖縄県那覇市

『つかってあそぼう しまくとぅば』



沖縄豊見城市

『わったー たからむん てみぐすく くとぅば』

昔話・民話

岩手県

13

青森県



高木恭造



津軽 太幸治



柳田国男1910年



星の環会



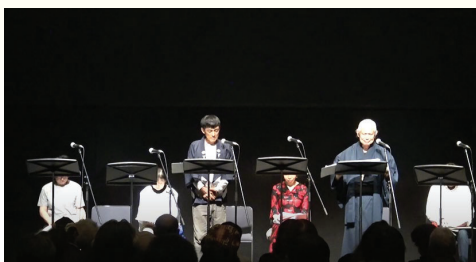
宮沢賢治



井上ひさし

演劇

14



ケセン語劇団

https://www.youtube.com/watch?v=RrwUpTdTBGE&list=PL0wBs3zfF8pRDDvPI_lv3oWDoijbNIIcG



八戸市演劇集団ごめ

<https://ukipal.jp/2018/04/29/ukipal48/>

子どもたちの活動へ 鹿児島県沖永良部島の例から

「くんじゃい(国頭)しまむにプロジェクト」



2019年2月10日 (国立国語研究所)

「わどうまい(和泊)しまむにプロジェクト」



2020年2月16日 (国立国語研究所)

方言継承活動の課題

方言を使う
場面を増
やそう！

1 学校教育

- ・ 学校や教員の負担
- ・ 教員の異動
- ・ 他の地域出身の児童・生徒の参加

2 社会活動

- ・ 参加者の固定化
- ・ 子どもたちの参加をどう促進するか

3 方言の教材

- ・ 子ども向け教材の開発が必要
- ・ どの地域の方言で教材を作成するか
- ・ 地域内のバリエーションを消してしまう恐れ
- ・ 表記法の問題

4 昔話・民話・演劇

- ♥ 方言学習の導入として最適
- ・ 文学、芸術と日常生活の言語を結びつける方策

5 ネットでの配信

- ♥ 動画、音声付きの教材として有効
- ・ メディア・リテラシー教育が必要

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

効率派

英語ができれば日本語は
要らないということになり
かねない。

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

容認派

恐竜も滅んだ。
メソポタミア語も滅んだ。
それと同じか？

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

保存派



連帯感を強めると同時に、
他を排除する。

注意！

もし、方言がなくなったら・・・

◆ 方言でしかあらわせない、地域の文化がある。

山形東櫛引町方言のオノマトペ（擬声語・擬態語）

- (1)【女】あさの たね。おだねって んめー もんだもの、あれも。こーばしぐで。その しそまぎさなの いっでの ピチランピチランて たべる もんだ。たべた もんだ。

麻の種。苧種（おだね）といって、おいしいものだもの、あれも。こうばしくて。その、しそまきになんか入れてね。ぽりぽりと食べるものだ。食べたものだ。

- (2)【男】そればかり すっど やはり よわいんだよな。

【女】して やっぱり あさいどばっかだば ヒョータラクッタラっでー
でば えーがの。

【男】それだけにすると、やはり弱いのだよね。

【女】そしてやっぱり麻糸だけだとひよろひよろといえよいのかな。

（国立国語研究所『日本語諸方言コーパス』より）

なぜ言語・方言を守らなければならないか

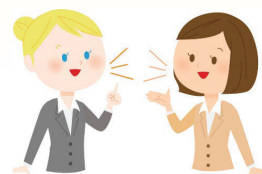
方言が残るか、
消えるかは私
たちの手にか
かっている。

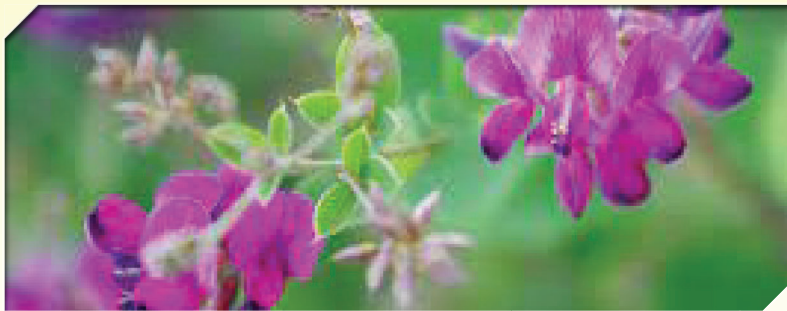
言語・方言は、その土地の文化
や歴史、生活の知恵を表現する
という役割をもっている。

それを私たちの世代で終わらせ
ていいのか？

方言をもっと使いましょう

- お年寄りや、若い人やお孫さんに方言で語りかけましょう。若い人の方言を「間違っている」「本当の方言じゃない」などと言わずに、ちゃんと聞いてあげましょう。
- 若い人はもっと方言を使いましょう。お年寄りの方言と違っていても結構です。
- 中年の人は子どものころに聞いた方言を思い出して、口に出してみましょう。





最後までお聞きくださり、
ありがとうございました。

資料

- 文化庁「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する調査研究」
(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/shinsai_jittaichosa/index.html)
- 文化庁「被災地における方言の活性化支援」事業
(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/kasseikajigyo/index.html)
- 木部暢子『そうだったんだ！日本語 じゃっで方言なおもしとか』(岩波書店、2013年)
- 木部暢子・麻生玲子編『新しい地域文化研究の可能性を求めて Vol.3 ことばは文化の源』人間文化研究機構、2018年
- 木部暢子「言語が消滅するということ」『わたしの外国語漂流記: 未知なる言葉と格闘した25人の物語 (14歳の世渡り術)』河出書房、2020年

2日目

アイヌ語学習の現状と 課題

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

北原 モコットゥナシ

御本人の御希望で、ウェブ上での公開はいたしません。
(※P81～P96)

＊「令和３年度 危機的な状況にある言語・方言サミット（気仙沼大会）」に合わせて収録された動画である。

2日目

協議 「島ムニニ継承の取組を 家庭に」

協議

「島ムニ二継承の

取組を家庭に」

進 行

石原 昌英（琉球大学）

パネリスト

横山 晶子

（日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学）

前田家の皆さん（知名町民）

【話題の候補】

- 自己紹介
- どのような取組を行ってきたか
- 島ムニに関する調査データ
- 家庭での取組の意義
- 島ムニ継承の可能性

持続可能な言語継承活動とは
—研究者の立場から—

日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学 横山晶子

危機言語サミット奄美大会では「しまむに継承の取り組みを家庭に」広げる活動として、「しまむにプロジェクト」の紹介をしました。「しまむにプロジェクト」とは、言語復興の港（代表：山田真寛）の企画で、①小学校の夏休みの課題として、島ことばを使った作品を家族で作る、②作品を島内の他の人たちと共有する、③作品と島ことばを島外の人に紹介する、というプロセスを通じて、三世代の交流の中で、しまむにに触れ、学び、使用する機会を作る取り組みです。参加された方々は、その後も家庭内でしまむに学習を続けたり、町のしまむに継承活動の要となるなど、短期間のイベントにとどまらず、長期的なしまむに継承活動へと繋がるきっかけとなりました。



「わどまり・しまむにプロジェクト」発表会

上記のような、家族を対象としたプロジェクトは効果が高いと実感しましたが、コロナで現地との往来が困難になると、プロジェクトは一時中断状態となりました。

コロナ後の3年間は、これまで以上に持続可能な記録・継承活動について考える機会となりました。私自身は、①言語教材の整備、②地域の中に記録者・継承者を増やすこと、の2点を中心に活動しました。

1. 言語教材の整備：教材の出版・オンライン動画の公開

一般向けの言語資料の整備として、島の昔話を4つの言語で語った『塩一升の運』、そしてしまむにの体系的な教材を『0から学べるしまむに読本』を出版しました（いずれも、ひつじ書房）。『0から学べるしまむに読本』については、「教科書だけでは分かりにくい」「音声聞きたい」等の要望から、1課ごとの解説動画を、2週に1回オンラインライブとして配信し、ホームページで公開しています。

<https://sites.google.com/view/shimamuni-dokuhon/home>



4-2 「～しよう」「～しろ」の形 奄美沖永良部島の言葉

Akiko Yokoyama
チャンネル登録者数 10...

登録済み

1

共有



2. 地域の中の、記録者・継承者の育成：知名町公民館講座

地域の中に、しまむにを記録する・教授する人材を育成する活動として、2019年より月1回のペースで、知名町公民館講座に「しまむに講座」を国立国語研究所の山田真寛准教授と行っています。地域のご協力のもと、Zoomで公民館と講師を繋ぐことで、コロナ中も途絶えることなく、続けることが出来ました。この講座では、毎年テーマを変えながら、①しまむに会話集の制作、②しまむにの文法学習、③しまむにの調査・分析、④しまむにの記録・録音、⑤他地域の取り組みを学ぶ（ゲスト講師）などの活動をしています。



方言 (地名)	方言 (標準語対応)	意味	品詞	活用	備考
あに	あに	あか【1】	名		あまのあか
あにまじり	あにまじり	あまじ	名		あまのあまじ
あにじ	あにじ	あまじ	名		あまのあまじ
あに	あに	あま	名		あまのあま
あに	あに	あま【1】	名		あまのあま
あに	あに	いさ【1】	名		あまのあま
あに	あに	いさ【2】	名		あまのあま
あに	あに	いさ【3】	名		あまのあま
あに	あに	うで【1】	名		あまのあま
あに	あに	うで【2】	名		あまのあま
あに	あに	いも【1】	名		あまのあま

国立国語研究所の「危機言語データベース」には、参加者の方々が収録した音声データが公開されています。<https://kikigengo.ninjal.ac.jp/data/tango/search>

3. 地域の活動と研究者

私自身がコロナ禍で学んだことは、**持続可能な記録・継承活動とは、地域に起点がある活動**だということでした。この意味で、言語継承に携わる研究者がすべきことは、まず **(1)地域の継承活動の支えとなるリソースを整えること**、そして **(2)地域の中に、記録・継承ができる人材を育成すること**、だと考えています。

ただし、それは地域に活動を丸投げするということではありません。沖永良部島では、2019年に和泊町・知名町・国立国語研究所が「**方言継承に関する協力協定**」を結んだあと、島内では2020年に和泊町が「**島ムニ継承推進協議会**」設置、2021年に知名町で**創作方言劇「ヒーヌムンの生まれた海」**上演など、地域が起点となる動きがいくつもありました。しかし、一緒に活動してきた島の方々からは「早く島に来て、運動を盛り上げて欲しい」と言った声も度々聞かれました。

現実社会の変化を目指す「アクション・リサーチ」では、研究者は当事者の一人として、**地域の方々（ステークホルダー）の活動を活性化する「触媒」**としての役割を期待されます。その意味で、地域で活動に携わる人々をサポートし、勇気づけ、empowerment（力付け）し続けるということも、言語継承に携わる研究者の役割の1つだと考えています。

伝統方言¹の理解度と家族の中での言語使用

日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

横山晶子

1. 背景

琉球諸語の世代間継承が途絶えつつあることは、地域の人や現地調査を行う研究者に共通した認識だが、実際にどの程度言語の衰退が進んでいるのだろうか。Yamada et al. (2018) は、言語実験によって危機言語の世代間継承の実態を調べる手法を提案し、横山・籠宮(2019)はその手法を用いて、2017年に、沖永良部島国頭集落で「地域の伝統方言（国頭方言）の理解度」が年齢によってどのように推移するかを調査した。

その結果、(2017年時点で) 40代以上は伝統方言の高い理解度を有する一方、40歳前後で理解度が若干低くなり、更に下の世代になると、年齢が若くなるにつれて理解度が急激に低くなることが明らかになった(図1)。

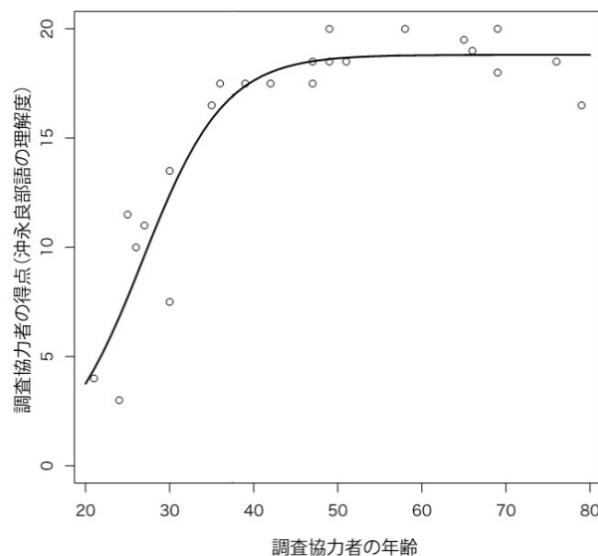


図1. 年齢による理解度の推移

¹ 沖永良部島の言語（しまむに）について、地域で「方言」という呼称が浸透しているため、調査で「方言」という呼称を使用した。それに倣って本稿でも「方言」という呼称を用いている。

2. 言語衰退の背景にある社会の変容

この言語衰退の背景に、どのような社会的変化があったのかを調べるため、神田外語大学の富岡裕先生と協力し、2018年～2022年にかけて、沖永良部島国頭集落で生まれ育った20代～90代の男女29名にインタビュー調査を行った。

インタビュー調査では、学校での方言教育、家庭内での言語使用、集落外・島外結婚、言語意識、メディアの発達など、幾つかの項目について尋ねたが、もっとも理解度の推移と関連が深そうなのは「家庭内での言語使用・言語選択」であった。この発表では、国頭集落における家庭内での言語選択の大まかな推移を紹介する。

なお、以下ではインタビュー調査の結果を引用する際に「kng36」などのIDを振っている。この数字部分は理解度テストと比較するために、2017年度の年齢となっている。

3. 国頭集落における家庭内での言語使用・言語選択の推移

① 家の中で、方言で話しかけられていた世代（kng92f～kng56m：1925年～1961年生）

この世代は、家の中で使われる言語が全面的に方言で、祖父母や両親らからも方言で話しかけられていた世代である。自分が返答する言語も方言だったと回答しており、本人の第一言語も国頭方言だったと考えられる²。

- 「子どもの頃、お父さんお母さんが、kng83fさんやご兄弟に話し掛けるときは方言でしたか。（富岡，20200819，543）」
「うん。方言。（kng83f，20200819，545）」
「kng83fさんやご兄弟が、お父さん、お母さんに話し掛けるときはどうですか。（富岡，20200819，547）」
「みんな方言。（kng83f，20200819，548）」
「兄弟同士で話すときも方言ですか。（富岡，20200819，549）」
「方言。標準語使ったことない（笑）。方言ばっかし。（kng83f，20200819，550）」

この世代は、成人後に「自分たちの子供にも方言を使っていた世代（①-A）」と、「子どもたちには共通語を使っていた世代（①-B）」に分かれる。

自分たちの第一言語が方言であるにも関わらず、子どもに共通語を使っていた背景には、学校等で始まっていた「方言禁止教育」の影響がみられる³。

² ただし、kng58f（1959年生）は「方言で話しかけられたけど、共通語で返していた」と話しており、下の世代になるほど個人差があったと思われる。

³ 学校での方言禁止教育は、kng90f～kng49f（1927年生～1968年生）のインフォーマントが体験したことがあった。

①-A：自分たちの子供にも方言を使っていた（92f～82m）

- 「お子さんたちと話すときはもうずっと方言ですか。（富岡，20180816，859）」
「方言よ。方言。（kng92f，20180816，859）」
「じゃ、今でも皆さん方言で、電話とかしてくる。（富岡，20180816，859）」
「そうですよ。（kng92f，20180816，859）」
- 「お子さんが生まれたときも、方言で話し掛けたりしてましたか。（質問，20220310，443）」
「そうよ。生まれてすぐの子どもは、標準語なんか分からない。（kng82m，20220310，444）」

①-B：子どもたちには共通語を使っていた（79f～56m）

- 「お子さんが生まれた後、お子さんに対してはどうでしたか。（横山，20200804，285）」
「その時はなるべく共通語を使っていたと思います。（kng79f，20200804，286）」
「それは意識して？（横山，20200804，287）」
「うん。意識して。（kng79f，20200804，288）」
「どうして意識して共通語話していたんですか。（横山，20200804，289）」
「子どもには方言使ったらいかんと思って、そういうあれがあったね。そうすると（※家で方言を使っていると）学校行って方言になるから。（kng79f，20200804，295）」

② 家の中で、自分より上の世代は方言で話すけれど、自分は共通語で話しかけられていた世代（42f～58f：1959年～1975年）

この世代は、自分より上の兄弟や、両親、祖父母同士は方言で話すものの、彼らから自分には共通語で話しかけられていた世代である。

- 「常にじいちゃん、親同士はみんな方言。日常会話。」
「親御さんが、kng49fさんに話し掛けるときは標準語？（Q，20181123，60）」
「私たちは学校で、しゃべってはいけないっていう世代なので。絶対親も（※方言で話しかけなかった）。（kng49f，20181123，63）」
「うちの5つ上の兄から以上は、お互いみんな方言で。（kng49f，20181123，71）」
「上から5番目までのお兄さん達が話し掛けるときって、どうなるんですか。（Q，20181123，88）」
「標準語。（kng49f，20181123，89）」

この世代は、第一言語は「共通語」であるものの、理解度テストを見ると、方言の理解度が母語話者並みに高い世代である。たとえ本人には共通語で話しかけていても、親同士など方言を使う人たちが身近にいた場合、子どもが「聞くと理解できる」受動話者になる可能性を示している。

③ 家の中で、親世代以降が共通語の世代（37m 以下）

この世代は、家の中で、親同士が共通語を話していた世代である。祖父母→本人、親→本人も共通語での話しかけとなる。これは必ずしも親世代に方言の運用能力が無かったことを意味せず、「相手によっては方言を話していた」「感極まった時は方言を話していた」などの証言がある。

- 「おじいさん、おばあさんと親御さんは？（富岡，20181122，16）」「うちは父母と祖母が一緒だったんですけど、家で方言って聞いたことないですね。（kng37m，20181122，19）」

「お父さんとお母さまが話してるときは標準語なんですよ。（ユタカ，20181122，387）」

「そうですね。その方言は1回も多分聞いたことないような気がしますね。（kng37m，20181122，388）」

「父は、ある人と話すときは共通語だけど、ある人と話すときは方言とか。（kng37m，20181122，384）どこか地元の先輩とかがしゃべってるときとかは父もずっと方言ですもんね。（kng37m，20181122，386）」

- 「おじいさん、おばあさん同士が話してるのは、方言で。（Q，20200825，83）」
「方言で話す。子ども、孫に話す時は共通語になるんですが。（kng36f，20200825，84）」
「おじいさん、おばあさんが、お父さまにも共通語で話し掛けてるってことですよ。（Q，20200825，87）」
「はい。（kng36f，20200825，88）」
「（親は）怒る時とか感極まってる時は方言がバツと出るんだけど。普通の穏やかに話してる時は共通語で話してたと思います。（kng36f，20200825，95）」

この世代は、理解度テストを見ると、方言の理解度が急速に下がっていく世代である。たとえ祖父母が方言を話していても、家の中で、親同士という、より身近な人が方言を話していないと、家庭内で方言を理解できるようになることは難しいのかもしれない。

4. 家庭外での方言習得について

- ②より下の世代では、家庭内での完全な方言習得は難しいものの、家庭内で方言を聞いて

いた経験と、社会の中で方言に触れる機会が増える過程で、成長後にだんだんと方言が分かる／喋れるようになったという話も聞かれた。

- 「(※仕事で) あちらは方言で話し掛けてくるじゃないですか。返すときは。(Q, 20181123, 244)」 「そうすると、**私がしゃべれるんですよ**。それが不思議なんですよ。(kng49f, 20181123, 245)」
- 「同級生の中でも**いったん就職してお仕事で年上の人たちと喋るようになってもう 1 回方言を覚えた**、喋れるようになったっていう人は結構多いんじゃないかなと思います。(kng46f, 20211125, 69)」
- 「おじいさんとおばあさんが、42m さんに話し掛けるとき、ほとんどは標準語で話し掛けるっていう感じなんですか。」
「(※小さい頃は標準語だったけど) **だいぶ私の年がいったからは、ほぼ方言で**。」
「方言のほうが増えた？」
「はい。」
「それはなぜですか。42m さんの方言の理解力が上がったとかってことですか。」
「だと思います。」
- 「自分的には **7 割から 8 割ぐらいは聞ける**のかなと。話すのに関しては 2〜3 割ぐらいかなと。」
「ちっちゃいころから？」
「いや、ちっちゃいころは半分も分からなかったんじゃないかな。3〜4 割じゃないですか。」
「ということは、成長するにしたがって理解度が上がったって感じですかね。」
「そうですね。周りの人と話すときに**方言だったり、周りの大人がしゃべってる**ときの方言とかを聞いて耳が慣れていって、**理解度が高まったんだ**と思いますね。」(kng37m, 20181122, 167)」
「銀行員の時に、地元を回ってたので、もうすごい方言でしゃべってきて。役場も変わらないですけど、来庁者の方が高齢であれば方言ですし。(kng37m, 20181122, 70)」
「銀行行ってるときには**方言等はいっぱい聞ける環境**でしたね。(kng37m, 20181122, 90)」

5. まとめに代えて

本稿では、家庭内での言語使用と方言理解度の関係性について紹介した。個人差、家庭差があることは留意しつつも、今回のインタビューの範囲では、家の中で「家族から方言で

話しかけられていた」世代は、第一言語か、第一言語なみに方言を話することができる世代である。「共通語で話しかけられていたが、親同士など、身近な家族が方言で話していた」世代は、自分では方言を話さないものの、方言を聞いたらほぼ完全に理解できる世代である。この世代は、成長後に職業上の機会などで話し始める人たちもいた。親世代以降が共通語になった世代から、方言の理解度は急激に下がり始める。

今後、方言を継承していくとすれば、社会で「方言を聞く機会」「方言を使う機会」をいかに増やすかが重要であり、その中で家庭の役割は依然として大きいものとする。相手が分かりやすい言語で話すことは、話し手の思いやりのひとつであるが、子どもたちの言語能力を信じて方言をたくさん話し聞かせること、家族皆で楽しみながら方言を学ぶこと、も島の文化を伝えていくひとつの方法である。

「じゃあ、お孫さんと話すとき、方言使ったりもするんですか。(富岡, 20220310, 615)」

「方言ばかりよ。(kng82m, 20220310, 616)」

「お孫さん、方言使ったりしますか。(富岡, 20220310, 619)」

「おじいちゃんと話すときは、方言する。(kng82m, 20220310, 620)」

引用文献

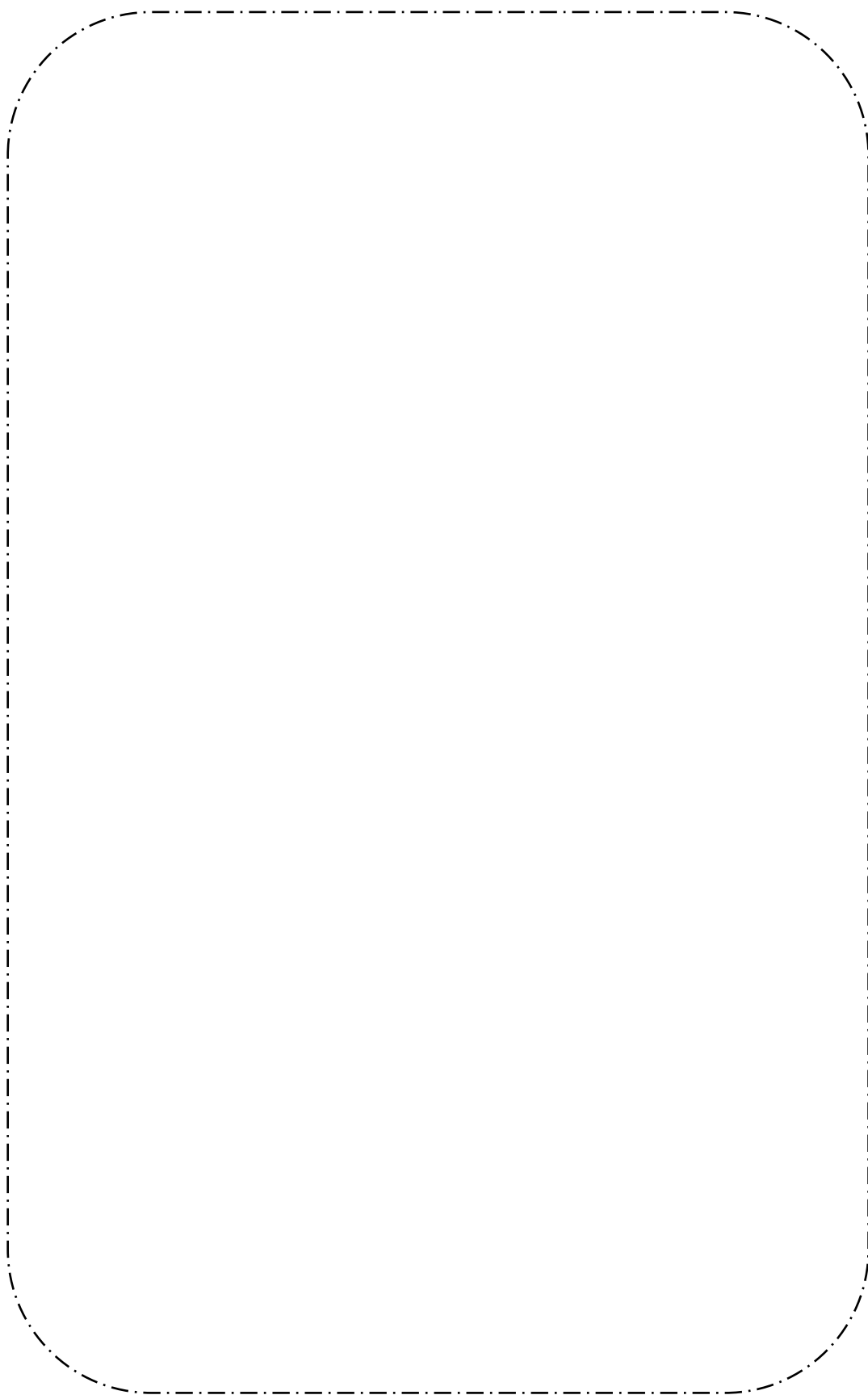
横山晶子・籠宮隆之 (2018) 「言語実験に基づく言語衰退の実態の解明－琉球沖永良部島を事例に－」『方言の研究』5: 353-375. ひつじ書房.

Yamada, Masahiro, Yukinori Takubo, Shoichi Iwasaki, Celik Kenan Thibault, Soichiro Harada, Nobuko Kibe, Tyler Lau, Natsuko Nakagawa, Yuto Niinaga, Tomoyo Otsuki, Manami Sato, Rihito Shirata, Gijs van der Lubbe and Akiko Yokoyama. “Experimental Study of Inter-language and Inter-generational Intelligibility: Methodology and Case Studies of Ryukyuan Languages”. The 26th JK. LA, USA. 2018/11.

謝辞

本研究は、若手研究「危機言語コミュニティにおける言語生態系と言語移行の関係－琉球沖永良部語を事例に－」(18K12392)、トヨタ財団共同研究「多文化・多言語社会としての日本の理解－消滅危機言語の相互理解性と世代間継承度のための客観的尺度の創出－」(代表：山田真寛)の助成を受けた成果です。

調査にご協力いただいた国頭集落の皆さま、コーディネートして下さった西村富明先生、田中美保子先生、福島文子さんに深く御礼申し上げます。



2日目

ブース発表

ブース発表

ブース A：危機言語継承ロールプレイングゲーム

横山晶子

ブース B：与那国島での取組

村松稔、上地艶子、方言辞典編集委員ほか

ブース C:和泊町歴史民俗資料館での取組

伊地知祐仁ほか

ブース D:和泊町教育委員会の取組

太剛志ほか

ブース E:知名町中央公民館の講座での取組

しまむにサロン

ブース F:沖永良部高等学校での取組

前田一真、市来晏大、大栄潮和、伊地知陽太、
若宮琉心、中村航、東奏太、室屋洋一校長

ブース G:下平川小学校での取組

林賢介校長、古家美由紀教頭

ブース H:アイヌ文化の伝承（アイヌ文様）

関根真紀、関根摩耶

ブース I:言語復興の港の取組

山田真寛ほか

ブース J:与論民俗村の取組

菊秀史

*ホワイエにおける各ブースの位置は、ホワイエにて御確認ください。

ブース A : ワークショップ「危機言語継承 RPG (ロール・プレイング・ゲーム)」

日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学 横山晶子

ワークショップの趣旨

このワークショップは、架空の言語「アルトコロ語」を継承するために、それぞれの立場で何が出来るかを考えるロール・プレイング・ワークショップです。様々な人の立場に立って、「ことばの継承のために何が出来そうか」主体的に考えることを目的にしています。

数名の参加者で話し合うワークショップ形式になります。参加ご希望の方は、14:20 に会場までお集まりください。



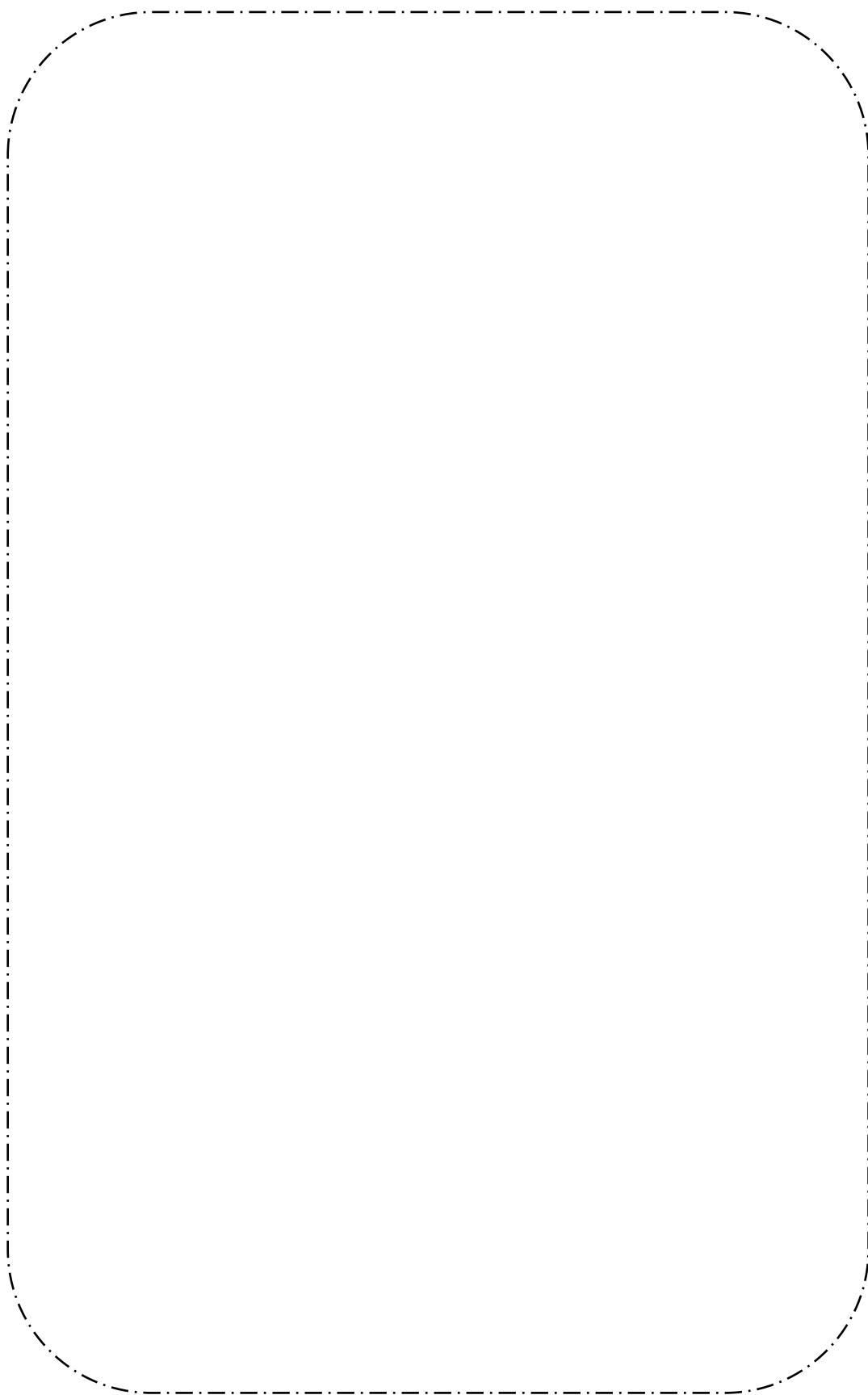
ワークショップの趣旨

このワークショップは、架空の言語「アルトコロ語」を継承するために、ひとりひとりが何が出来るかを考えるロール・プレイング・ゲームです。様々な人の立場に立って、「ことばの継承のために何が出来そうか」主体的に考えることを目的にしています。

現実社会では、皆さんは色々な役割をされていると思いますが、このワークショップの中では、皆さんが引いた「キャラクター・カード」が、ご自身のキャラクター（役割）です。そのキャラクターの立場で、アルトコロ語の継承のために出来そうなことを考えてみてください。

ワークショップの手順

- 1** 5人ほどのグループに分かれます。
- 2** キャラクター・カードを引きます。それがあなたの「キャラクター（役割）」です。
- 3** グループのメンバーに（キャラクターの）自己紹介をしましょう。
- 4** アルトコロ語を継承するために、「自分のキャラクターなら、何が出来そうか」考えてみましょう。
- 5** グループで、アルトコロ語の継承のために出来ることを話し合しましょう。自分のキャラクターが出来ることを出し合ったり、協力し合うことも可能です。
- 6** 話し合いの結果を「行動計画」として書きましょう。
- 7** グループの「行動計画」を会場の方々に共有しましょう。



2日目

大会宣言

令和4年度

危機的な状況にある言語・方言サミット（奄美大会）・沖永良部
大会宣言

—沖永良部島 芦清良地区—

「ひーぬむん」のテーマ曲

・・・『♪わきや ゆしきやぬ ひーぬむん♪』・・・

をうがみやぶら～！

こんにちは

わきやわ しまむに ぬくさーでい ‘むーてい、 2017 ねんから

私たちは 島ことば(を) 残そうと 思い、 2017 年から

かつどうしゅーぬ 『ひーぬむん』でいろ。

活動している 『ひーぬむん』 です。

むーぬし よーてい、 むにぐとうゆだや ぬだや かだや をうどうたや

みんなで 集まって、 おしゃべりしたり 飲んだり 食べたり 踊ったり

しーがちゃな、しまむに ちこてい あしどうん！

しながら、 方言(を) 使って 遊んでる！

うぬ 危機言語サミットんていわ きらさ でーじぬくとう

この 危機言語サミットでは とても 大事なことを

まんでい べんきょー シャーぶたん。

たくさん 勉強 しました。

むんなげ めーめーな でーじに しゅーぬ むにぬ あーさやー！

みんな それぞれに 大事に している 言葉が あるんだね！

うぬ むにたが 50 ねんたちむ 100 ねんたちむ きかゆぬいえー、

この 言葉たちが 50 年たっても 100 年たっても 聞こえるように

なま むんなげし はみちきてい ぬくさーやー！

今 みんなで 一生懸命 残そうね！

どうーちゆいしわ むちかしやあていむ、 むんなげし よーてい

自分ひとりでは むずかしくても、 みんなで 集まって

かんげりば でいきゆぬはじ！

考えれば できるはず！

むんなげし きばらー！

みんなで がんばろう！

なーちけ むんなげし うた うとらー！

もう一度 みんなで うた 歌おう！

むーぬ わきやとう あぐし うとてい たぼりよー！

みんな 私たちと 一緒に 歌って ください！

・・・『♪わきや ゆしきやぬ ひーぬむん♪』・・・

むんなげ みへでいろど～！

みなさん ありがとうございました～！

またや～！！

またね～！

「ひーぬむん」のテーマ曲

『♪わきや ゆしきやぬ ひーぬむん♪』

私たち(は) 下平川校区の ひーぬむん (木の妖精)

ゆしきや ひょー ぐしきぬ あーにー そーじ あまた やーじゃ あしきら

下平川 上平川 久志検 赤嶺 竿津 余多 屋者 芦清良

わきや ゆしきやぬ ひーぬむん

私たち(は) 下平川校区の ひーぬむん

しまむに しったい みじらしゃやー ふみぬ ししだま ほーらしゃやー

島ことば とても おもしろいな 米が 豊作 うれしいな

みじぬ こんこ うかぎでいろ うやほが きばたぬ うかぎでいろ

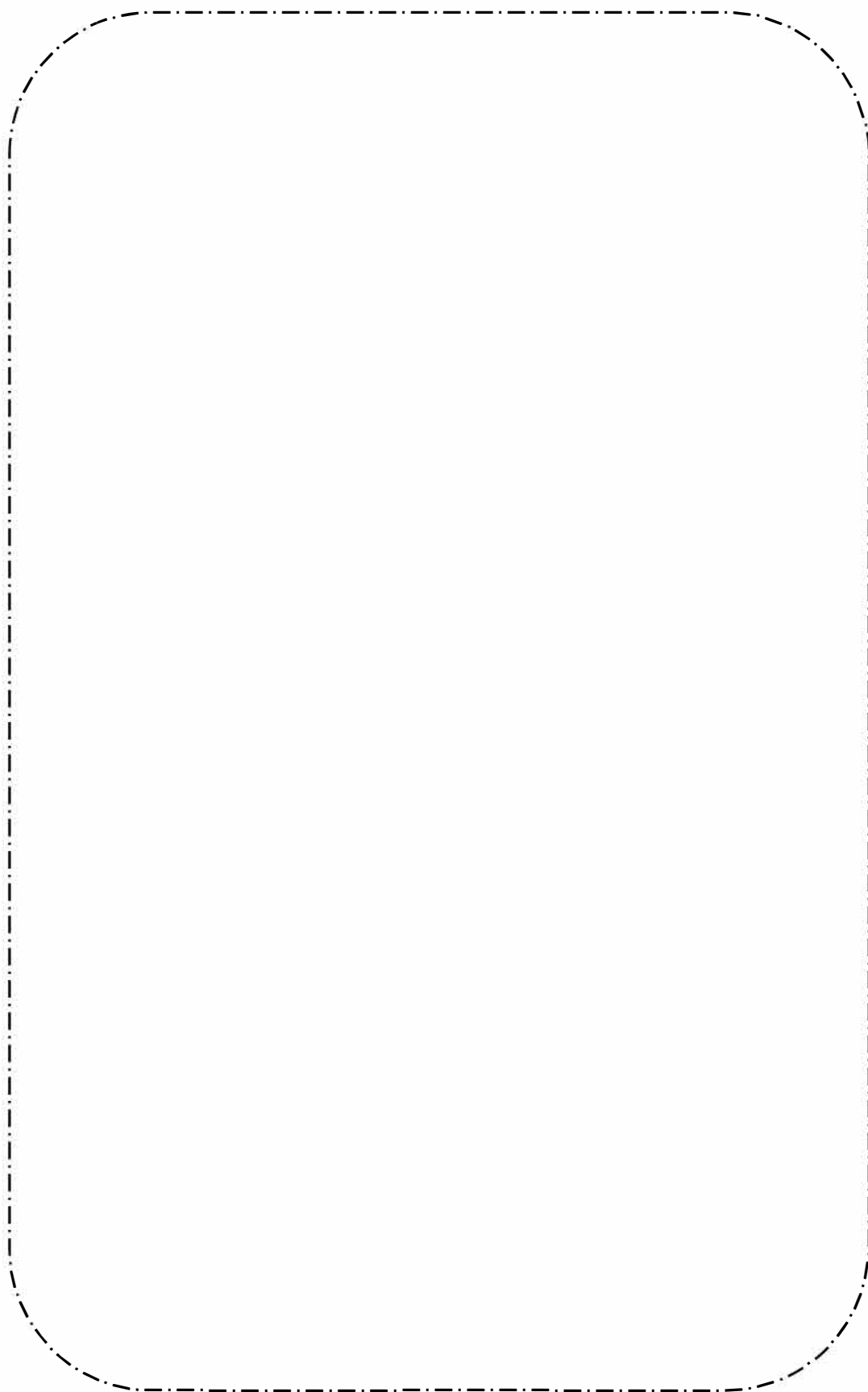
水が こんこん おかげです 先祖が がんばった おかげです

しまむに しまうた しまをうどうい うやほが はたてい くりたぬ くとう

島ことば 島唄 島踊り 先祖が おしえて くれた こと

あぐし あしでい うびらーやー わきや くわんきやちむ はたらーやー

一緒に 遊んで おぼえようね 私たち(の) 子どもたちにも おしえようね



令和4年度

危機的な状況にある言語・方言サミット（奄美大会）・沖永良部
資 料 集

令和5年1月

文化庁国語課

100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

鹿児島県観光・文化スポーツ部文化振興課

890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 10-1

知名町

891-9295 鹿児島県大島郡知名町大字知名 307

知名町教育委員会生涯学習課

891-9213 鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2362

